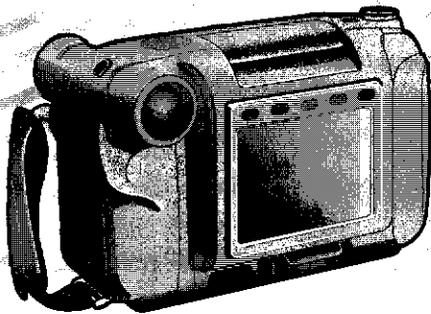


S-VHS液晶付ビデオカメラ
GR-MV1

準備

基本

応用

その他

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前にこの「取扱説明書」と別紙の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかを、お確かめください。

Hi-Fi
S-VHS

YU30071-130-1

正しくお使いいただくために

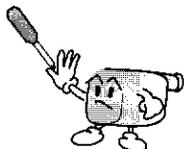
ご使用前に、この「正しくお使いいただくために」と別紙の「安全上のご注意」、75ページ～79ページの「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全のため特にご注意ください

危険な上、故障や事故の原因になることがありますので、次のことを必ずお守りください。

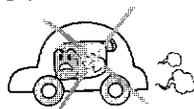
ビデオカメラについて

分解したり内部に異物を
入れない



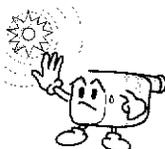
車などの運転中や、歩行中には
ビデオカメラを見ない

- 非常に危険です。
事故の原因になります。



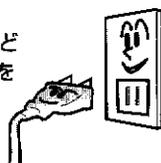
レンズを直接太陽に
向けない

- 反射物、高輝度の被写体にもご注意ください。



電源コードに傷を
つけない

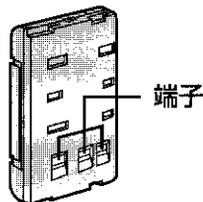
- AC パワーアダプターなどの電源コードはプラグを持って抜く。



バッテリーについて

端子に金属類が振れないように注意する

バッテリーを持ち運ぶときはビニール袋で包むなどして、端子にキーホルダーやネックレスなどの金属類が触れないようにしてください。ショートする恐れがあります。



ボタン電池について

充電しない

- 破損、液もれの恐れがあります。

分解や加熱、火に投入しない

- 破裂するなどの危険があります。

ショートさせない

- ピンセットなどの金属物で絶対につままないでください。ショートする恐れがあります。



大切な録画の前に

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、ビデオカメラおよびテープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合の、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機はS-VHS方式のビデオカメラです。S-VHS (VHS) マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。

リサイクルについて



Ni-Cd

この製品に使用する電源にはニカド電池があります。ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換や廃棄の際はリサイクルにご協力ください。

- 電池の電極間ショート(短絡)防止のため、リサイクルに出す時には絶縁テープで電極をふさいでください。

著作権について

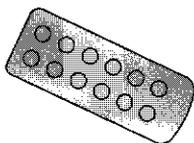
あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。)

付属品について

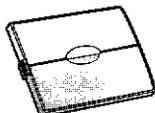
本機の付属品をお確かめください。



ジャンクションボックス



リモコン



サンフード
(ビデオカメラに取り付けられています。)



ボタン電池
CR2025(2個)

- ビデオカメラ時計用 (取り付け済) 1個
- リモコン用 1個



編集コード
長さ：約1.5m



映像/音声コード
長さ：約1.5m



S映像コード
長さ：約1.5m



クリーニングクロス

いますぐ撮影したい

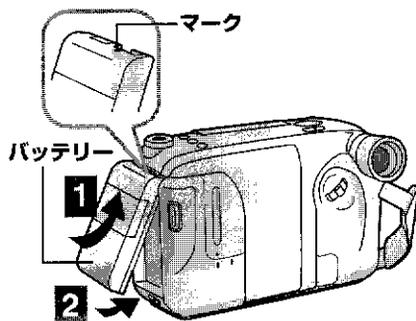
■内の数字は参照ページです。

1 電源の準備 (8)

1 充電したバッテリーをマーク
を上にして斜めに差し込む

2 カチッと音がするまで確実に
差し込む

●バッテリーが確実に付いていることを
確認してください。



2 テープを入れる (12)

1 カセット取出しボタンを押し
ドアを手で開く

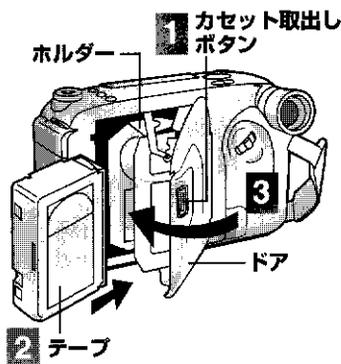
●自動的にホルダーが開きます。開か
ないときは、もう一度カセット取出
しボタンを押してください。

2 テープを入れる

●テープにたるみがないことを確かめ
てから入れてください。

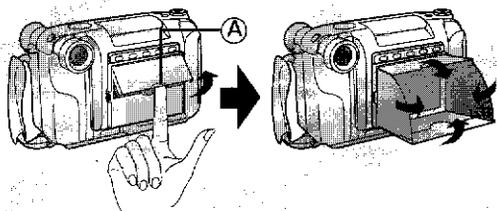
3 ドアを閉める

●カチッと音がします。



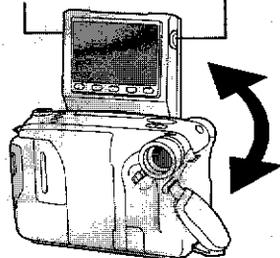
付属サンフードの使い方

Ⓐを指で引いて開きます。画面を見ないとき
はたたんでおいてください。たたみかたは
両側→下→上の順です。



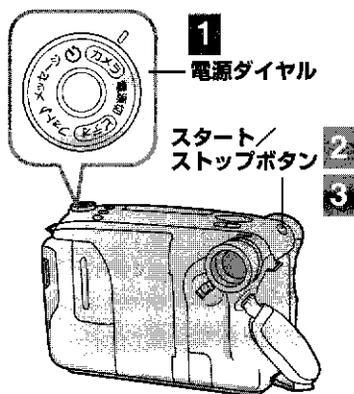
液晶画面を起すには

この部分を持って液晶画面の角度を
変えることができます。



3 撮る (18)

- 1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする
- 2 スタート/ストップボタンを押して撮影を始める
- 3 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す



4 見る (32)

- 1 電源ダイヤルを 'ビデオ' にする
- 2 巻戻しボタンを押す
●テープの始めまで巻き戻すと自動的に停止します。
- 3 再生ボタンを押す
●音声はスピーカーまたは市販のヘッドホンで聞くことができます。
- 4 再生をやめたいときは、停止ボタンを押す



準備



電源を準備する	8
●バッテリーを充電する	8
●バッテリーを取り付ける	8
●バッテリーをリフレッシュする	9
●ACパワーアダプターの点検	10
●室内で電源を使うとき	11
●車内で電源を使うとき	11
テープを入れる	12
液晶画面とファインダーの表示	14
撮影前に調節する	16

基本



撮影2ポジションを使う	17
撮影する	18
●A.ファインダーを見ながら撮影する	19
●B.液晶画面を見ながら撮影する	20
●C.液晶画面を見せながら撮影する(対面撮影)	22
●日時を入れて撮る	24
●大きく撮りたいときは	26
●記念写真のように撮る	27
●画面の揺れをおさえる(手振れ補正)	28
●セルフタイマー	29
●5Sモード(5秒撮り)	30
再生する	32

応用



映像に変化をつける(演出/効果)	34
●映画効果	35
●シネマ	35
●スポーツ	35
●逆光(逆光補正)	35
●高感度	35
場面のつなぎに変化をつける(場面切替)	36
●フェーダー	37
●ワイプ	37
ホワイトバランスを調節する	38
ピントを合わせる(フォーカス)	40
暗いところで撮影する(感度アップ)	41
ワイドテレビ対応の撮影をする	42
メニューを使って機能設定する	44
フォトミュージックビデオを作る	48
メッセージモードを使う	52
●メッセージを録画する	52
●メッセージを再生する	52



ビデオデッキやテレビと接続する.....	56
編集する(ダビング).....	58
ビデオカメラをビデオデッキとして使う.....	60
あとから音や映像を入れる.....	62
テレビチューナーTU-V30を使って.....	64
ボタン電池(時計用)を入れ替える.....	68
日時を合わせる.....	69
こんなときは.....	72
使用上のご注意.....	75
各部のなまえ.....	86
海外でお使いになるには.....	86
主な仕様.....	87
ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE.....	88
索引.....	90
保証とアフターサービス.....	94

説明書に出てくるマークは

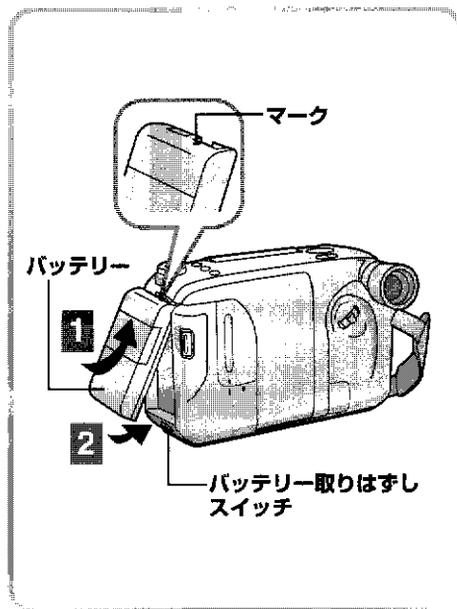
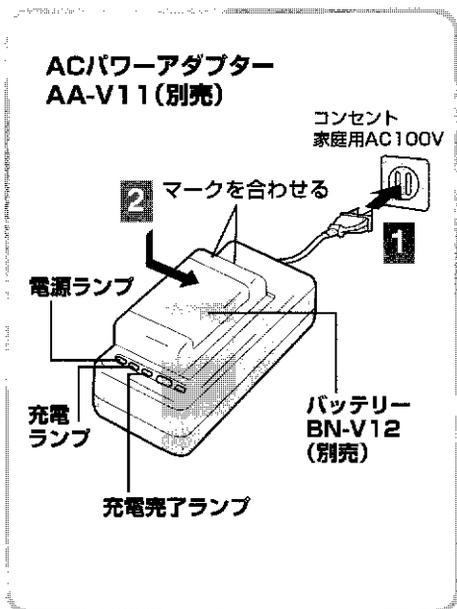
- は知っているると便利な操作や説明です。
- は正しくお使いいただくためのご注意です。
- はその数のページをあわせてご参照ください。

主な特長

- 上下左右見やすい画面と多彩なアングル撮影が楽しめます。
- 新4インチくっきり液晶スウィングモニター 20
- 対話撮影でハイ！ポーズ！ 22
- スピーカー搭載！記念写真／連写モード 27
- 高画質57万画素CCD搭載
- 安心、便利なスーパーVHS方式 13

電源を準備する

ビデオカメラはバッテリーで動きます。ACパワーアダプターAA-V11（別売）で、まずバッテリーを充電しましょう。



バッテリーを充電する

- 1 ACパワーアダプターのプラグをコンセントに差し込む

●電源ランプが点灯します。

- 2 マークを合わせ、バッテリーを矢印方向に差し込む

●充電ランプが点灯し、充電を始めます。

●充電ランプが消え、充電完了ランプが点灯したら充電完了です。

●取りはずす時は、取り付けたときと逆の方向へバッテリーをスライドさせます。

●電源プラグを抜いてください。



●ACパワーアダプターAA-V11は、AC（交流）100～240V、50/60Hz仕様です。海外でもお使いになれます。（)

バッテリーを取り付ける

- 1 充電したバッテリーを、マークを上にして斜めに差し込む

- 2 カチッと音がするまで確実に差し込む

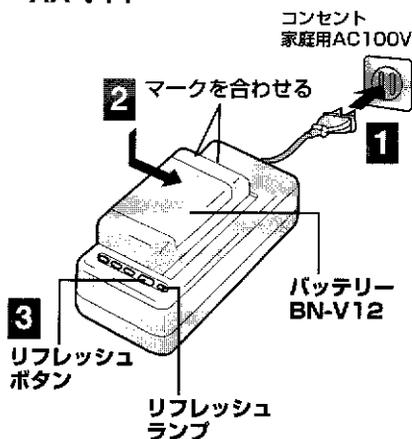
●バッテリーが確実に付いていることを確認してください。

●取りはずす時は、バッテリー取りはずしスイッチをスライドさせます。



●バッテリー以外に室内や車内で使える電源もあります。（)

●充電中や、リフレッシュ中に、DCコードをACパワーアダプターに接続すると、電源がビデオカメラに供給され、充電やリフレッシュは中断されます。（ACパワーアダプターの電源ランプは点灯しています。）

ACパワーアダプター
AA-V11

バッテリーをリフレッシュする

バッテリーの性能を長持ちさせるために、リフレッシュ機能で5回の充電につき1回を目安にリフレッシュ（放電）することをおすすめします。

1 ACパワーアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

2 バッテリーを取り付ける

3 リフレッシュボタンを押す

- リフレッシュランプが点灯してリフレッシュが始まります。
- リフレッシュランプが消えるとリフレッシュ（放電）完了です。充電ランプが点灯し、充電が始まります。

バッテリーについて

- バッテリーは使い切らないまま充電すると容量が低下します。使いかけのバッテリーは使いきるか、リフレッシュ（放電）してから充電してください。
- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。使用する直前か前日に、充電してください。

リフレッシュ（放電）について

- ACパワーアダプターの電源プラグを、コンセントに差さずにリフレッシュボタンを押すと、充電せずにリフレッシュすることが出来ます。
- リフレッシュ済み（容量が残っていない状態）のバッテリーは、ACパワーアダプターに取り付けてもリフレッシュされません。

バッテリー 充電／リフレッシュ時間の目安表

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V15	約1時間25分	約5時間
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V25	約2時間40分	約10時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V65	約2時間10分	約7時間

ACパワーアダプターAA-V11使用の場合

- リフレッシュ時間は容量いっぱいまで充電した状態からの目安です。

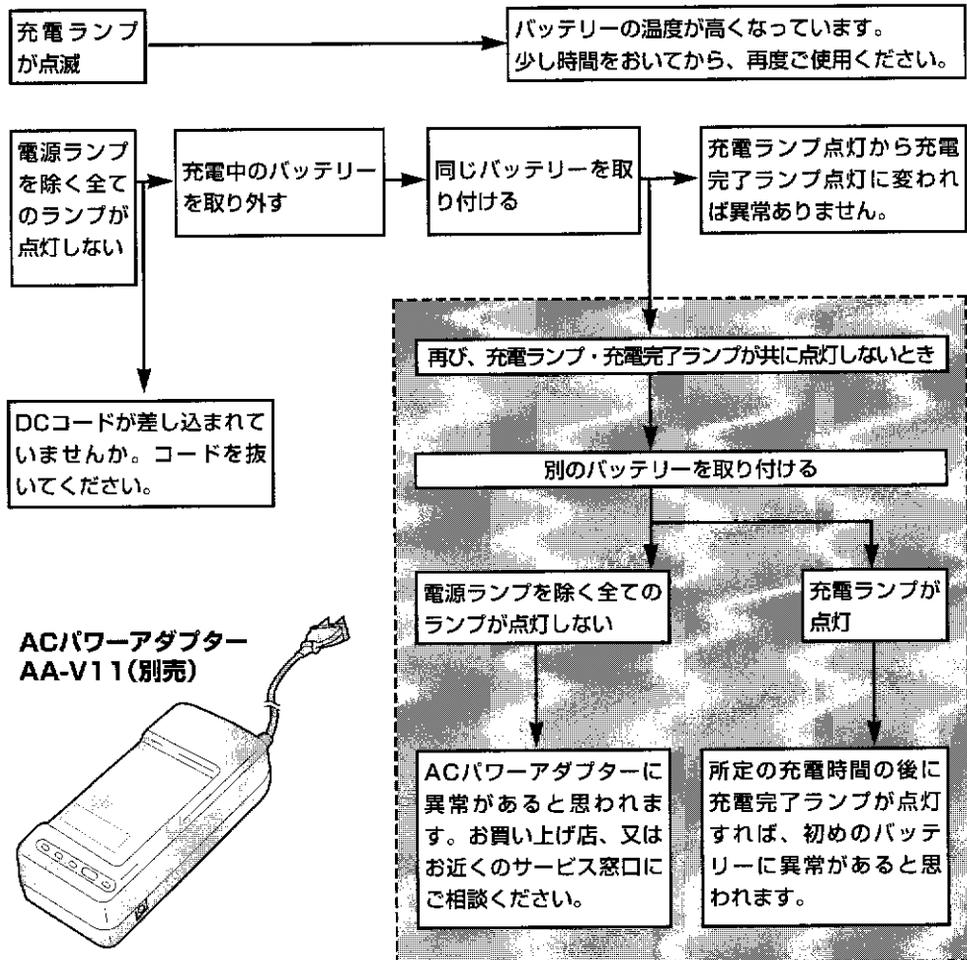
バッテリー 連続撮影時間の目安表

バッテリー	撮影時間		
	液晶画面入	ファインダー入	液晶画面/ ファインダー入
BN-V12	約25分	約40分	約25分
BN-V15	約40分	約55分	約35分
BN-V22	約65分	約85分	約60分
BN-V25	約85分	約110分	約80分
BN-V50	約75分	約100分	約70分
BN-V65	約65分	約85分	約60分

電源を準備する (つづき)

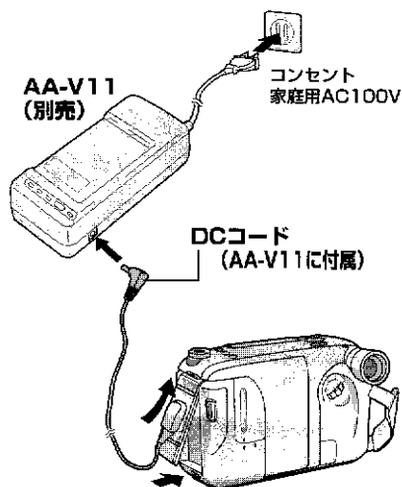
ACパワーアダプターの点検

ACパワーアダプター AA-V11 (別売) のランプが点滅したり、点灯しなくなったときは異常が考えられます。次の手順でご確認ください。

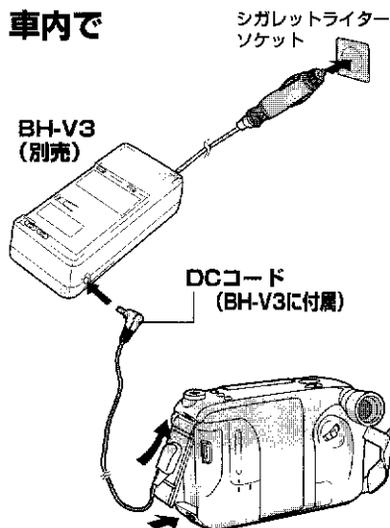


- 購入直後のバッテリーや、長期放置したものは、最初の充電のときに充電ランプが点灯しないことがあります。バッテリーを取り外し、もう一度充電してください。充電後、充電完了ランプが点灯したら、そのバッテリーは正常です。

室内で



車内で



室内で電源を使うとき

ACパワーアダプター AA-V11 (別売) を使って、ご家庭のコンセントから直接電源を利用できます。

- バッテリーの充電もできます。
- AC (交流) 100~240V、50/60Hz 仕様です。
- 海外でもお使いになれます。(電圧)
- DCコードの取り付け/取りはずしは、バッテリーと同じです。

車内で電源を使うとき

カーバッテリーチャージャー BH-V3 (別売) を使って、シガレットライターソケットから直接電源を利用できます。

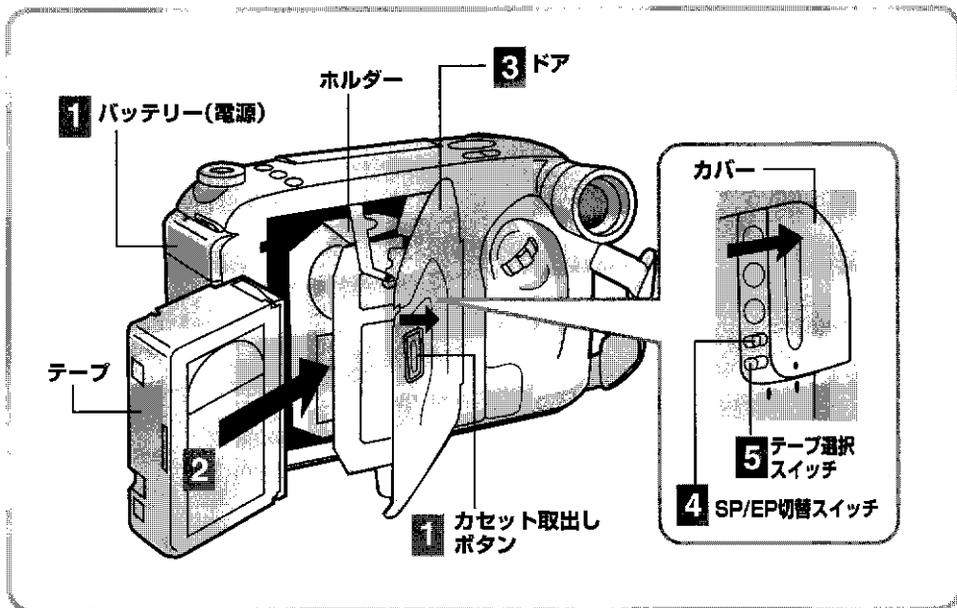
- シガレットソケットについて、バッテリーの充電もできます。(BN-V50 の充電はできません。)
- 日本車、米国車、欧州車 対応です。
- DCコードの取り付け/取りはずしは、バッテリーと同じです。



くわしくは、ACパワーアダプターAA-V11 (別売)、カーバッテリーチャージャーBH-V3 (別売) の取扱説明書をご覧ください。

テープを入れる

撮影をするためにテープを入れます。**S-VHS** (**VHS**) マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。



- 1** 電源を取り付け、カセット取出しボタンを押し、ドアを手で開く
- 自動的にホルダーが開きます。開かないときは、もう一度カセット取出しボタンを押してください。

- 2** テープを入れる
- テープにたるみがないことを確かめてから入れてください。

- 3** ドアを閉める
- カチッと音がします。

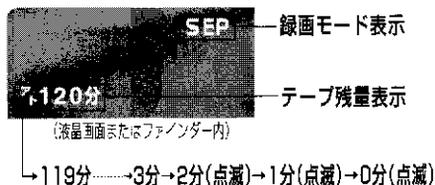
- 4** カバーのマークを「スタンダード」に合わせ、SP/EP切換スイッチでテープの録画モードを選ぶ
- SPは標準の録画モードです。EPは撮影時間がSPの3倍になります。

- 5** テープ選択スイッチをテープの長さに合わせて

20分テープ → 20
30分テープ → 30
40分テープ → 40

- 撮影中、液晶画面またはファインダー内に、使用するテープの残量表示が自動的に表示されます。

40分テープを使ってEPで撮影した場合



テープが終わると、液晶画面またはファインダー内にテープ表示が点滅し、「テープがなくなりました」の表示がでます。(対面撮影時はテープ表示のみ点滅)

テープと録画方式

録画方式にはS-VHSとVHSがあります。テープにもS-VHSとVHSがあり、VHSをより高解像度、高画質にしたものがS-VHSです。

テープのマーク	録画方式	用途および液晶画面の表示
S-VHS	S-VHS	<ul style="list-style-type: none"> ●S-VHS録画をします。 ●液晶画面とファインダーに'S'を表示します。(対面撮影時は表示しません。) ●録画したテープはVHSビデオデッキでは正常に再生できません。S-VHSビデオデッキまたはSQPB (S-VHS簡易再生機能) 付ビデオデッキで再生してください。
	VHS	<ul style="list-style-type: none"> ●S-VHSテープでVHS録画したいときは、カバーのマークをスタンダードに合わせ、メニューで'S-VHS'を選び、'切'にしてください。
VHS	VHS	<ul style="list-style-type: none"> ●VHS録画をします。 ●'S'表示は出ません。

準備

テープの録画モードについて

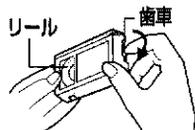
- SP (高画質モード)
標準の録画モードです。画質を重視するときや、編集(ダビング)するときにおすすめします。
- EP (長時間モード)
テープを経済的に使いたいときに、おすすめします。(撮影時間がSP時の3倍になります。) 標準(SP)専用のVHSビデオデッキでは再生できませんのでご注意ください。

録画モードの選択は撮影前に

撮影途中でSP/EPを切り換えると、再生したときにその部分で画像が乱れます。撮影前に選択してください。

テープのたるみは、テープを痛める原因になります

ご使用前に、歯車をリールと一緒に動くまで矢印方向に回してたるみをなくしてください。

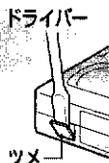


テープの出し入れだけを繰り返すと、たるみの原因になります。

誤って大切な記録を消さないために



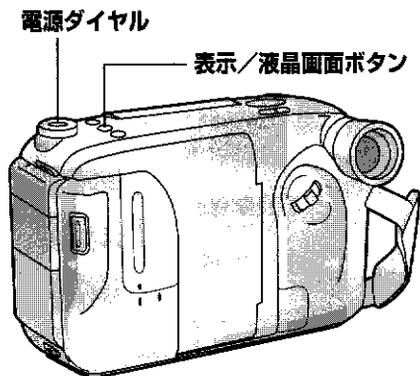
'ツメ'の部分がスライド式の場合はOFF側にスライドさせます。撮影するときにはON側にしてください。



'ツメ'を折ります。再び撮影するときには、ツメの部分にセロハンテープを二重に貼ります。

液晶画面とファインダーの表示

いろいろな機能の設定は、液晶画面またはファインダー内を見ながらおこないます。



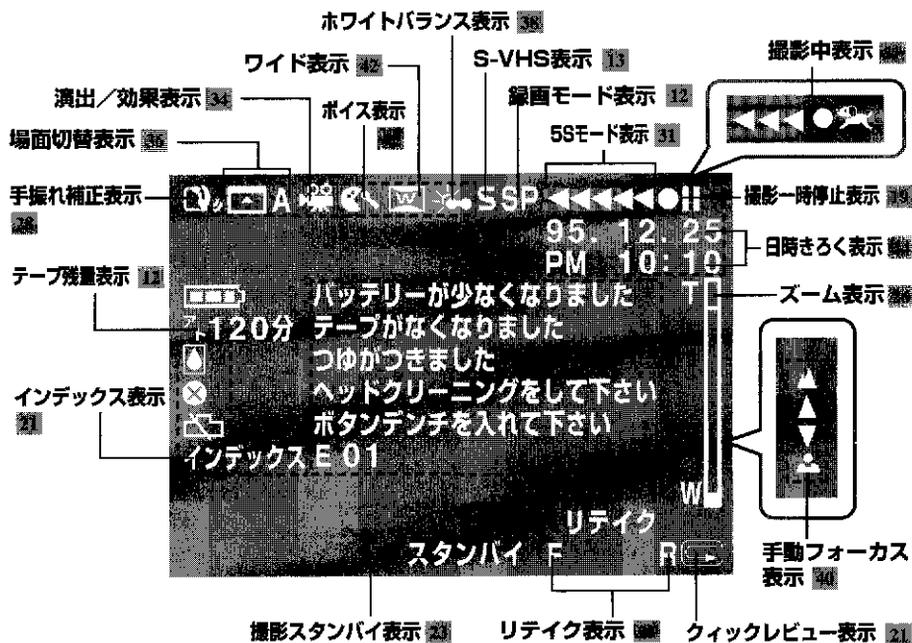
1 電源ダイヤルを 'カメラ' '📷' 'ビデオ' などにする

●液晶画面またはファインダー内に、いろいろな表示がでます。



液晶画面やファインダーから表示を消したいときは表示/液晶画面ボタンを、押してください。一部を除いて画面上の表示が消えます。もう一度、表示/液晶画面ボタンを押せば、表示が出ます。(約1秒以上押し続けると、液晶画面が切れます。)

電源ダイヤルが 'カメラ' または '📷' の場合

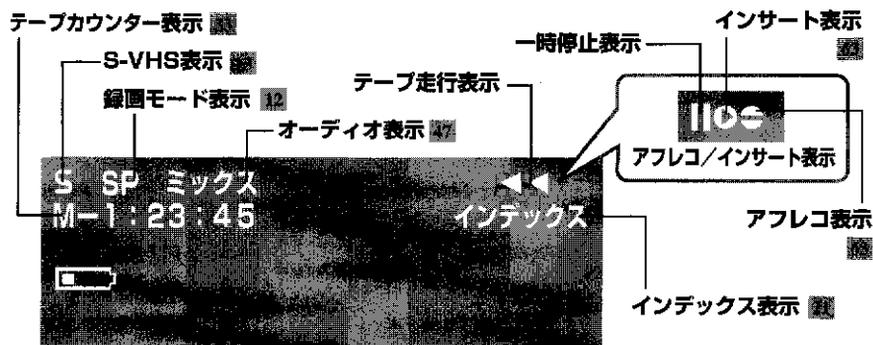


●液晶画面を起こしたときの表示です。

● [] で囲んだものは、表示/液晶画面ボタンを押して表示を消しても表示します。

● 対面撮影時 22 は、マークのみとなり反転して表示します。

電源ダイヤルが‘ビデオ’の場合



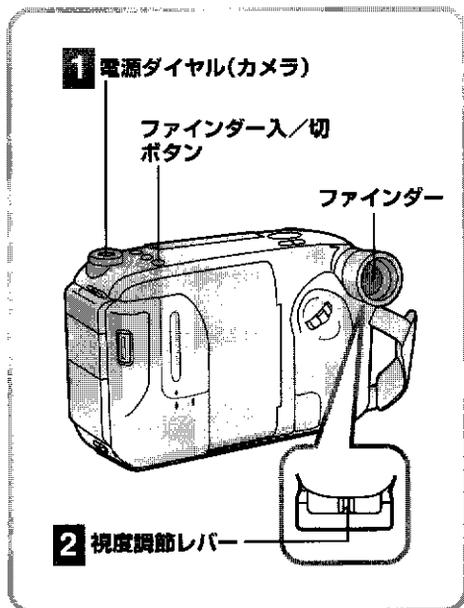
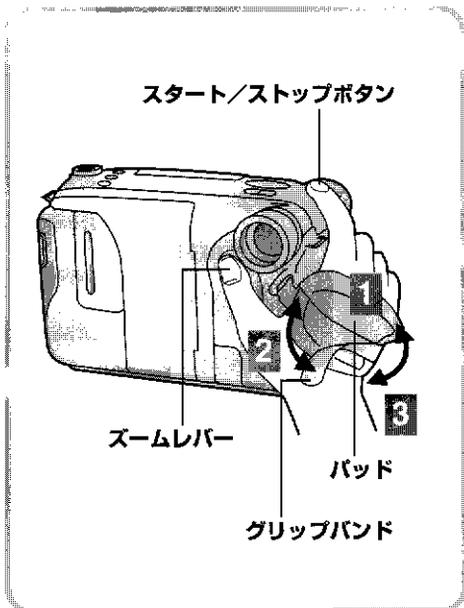
準備

警告表示

表示	表示名と説明
バッテリーが少なくなりました	バッテリーアラーム表示 バッテリーの充電容量が少なくなっています。(充電容量が少なくなると のように表示が変わり、終わりに近づくにつれて が点滅します。バッテリーが終わると自動的に電源が切れます。充電したバッテリーに変えてください。)
テープがなくなりました	テープ表示 テープが終わっています。またはテープが入っていないか、ツメなしテープで撮影できません。またはホルダーがきちんとしまっていないで撮影できません。テープを入れ直してください。
つゆがきました	つゆつき表示 つゆつきが発生しています。 *使用上のご注意 をご覧ください。
ヘッドクリーニングをして下さい	ヘッド目づまり表示 録画開始時、ヘッドにゴミ付きが発生し記録できない恐れがあるときに表示します。クリーニングカセットで清掃してください。
ボタン電池を入れて下さい	ボタン電池(時計用電池)表示 電池が入っていないか容量がなくなっています。
E01	保護回路動作表示 (E01~E07など) 拡大故障を防ぐため操作ができなくなります。テープを取り出しバッテリーをはずして数分待ち、表示が消えてからお使いください。表示が消えない場合は、お買い上げ販売店またはお近くのドクターサービス窓口にご相談ください。

撮影前に調節する

安定した撮影をするために、グリップバンドやファインダーを調節します。



グリップバンドの調節

手の大きさに合わせてグリップバンドを調節します。

- 1 パッドを外す
- 2 グリップバンドを調節する
 - ズームレバーとスタート/ストップボタンを操作しやすいように調節してください。
- 3 パッドをはりつける

ファインダーの調節

ファインダーを使って撮影するときのために画面が見やすいように調節します。

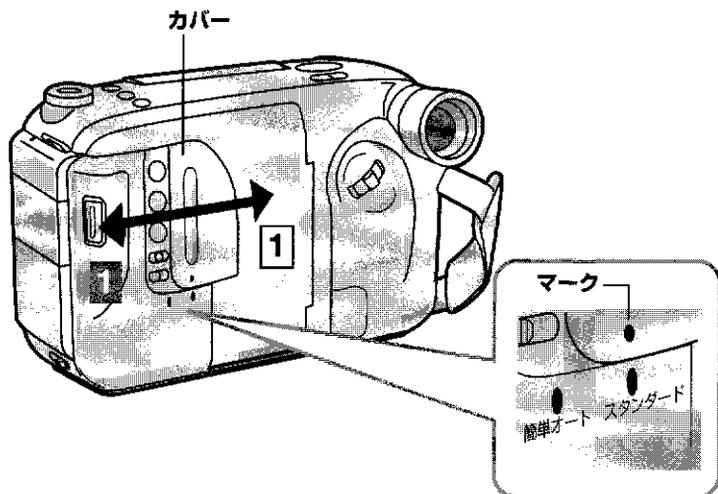
- 1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする
 - ファインダー内に映像が映ります。
- 2 ファインダー内の画面がはっきり見えるようにピント調節する
 - ファインダーをのぞきながら、視度調節レバーをスライドさせて調節します。



ファインダーを使わないときは
節電のため、ファインダー入/切ボタンを押して画面を切っておきましょう。もう一度、ファインダー入/切ボタンを押せば画面が出ます。

撮影2ポジションを使う

撮影をするときに、基本的な機能のみが使える‘簡単オート’と、すべての機能が使える‘スタンダード’の、2つのポジションからどちらかを選択します。



基本

簡単オート

初めての方でも簡単に撮影できます。お友達に撮ってもらったときなどはこのポジションを選んでください。

1 カバーのマークを‘簡単オート’に合わせる

●準備や撮影以外に使える機能は、以下の6つのみとなります。

- ・ズームスイッチ（20倍までに固定。） 26
- ・記念写真 27
- ・手振れ補正（‘入’になります。） 28
- ・液晶画面の明るさ調節 21
- ・ファインダーの入/切 16
- ・表示/液晶画面の入/切 14

●撮影中の日付の表示は、自動的にオートデートになります。 25

スタンダード

すべての機能が使えます。ビデオカメラの取り扱いに慣れてきたら、このポジションを選んでいろいろな撮影を楽しんでみましょう。

1 カバーのマークを‘スタンダード’に合わせる

●すべての機能が使えます。

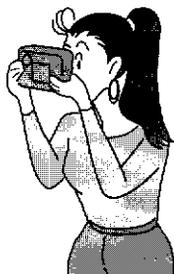
撮影する

撮影のしかたは3通りあります。

A

ファインダーを見ながら撮影

19



B

液晶画面を見ながら撮影

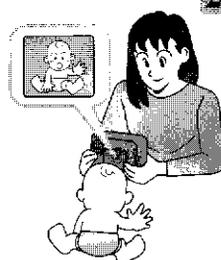
20



C

液晶画面を見せながら撮影

22



より安定した撮影のためには 姿勢が大切です



低い位置の撮影

壁や柱によりかかり
安定させる



左手もビデオカメラ
にそえる

わきをしめる

足は少し開き
しっかり構える

できるだけ両手で
持って撮影する



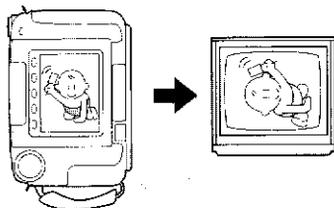
次の撮影まで時間があくときは

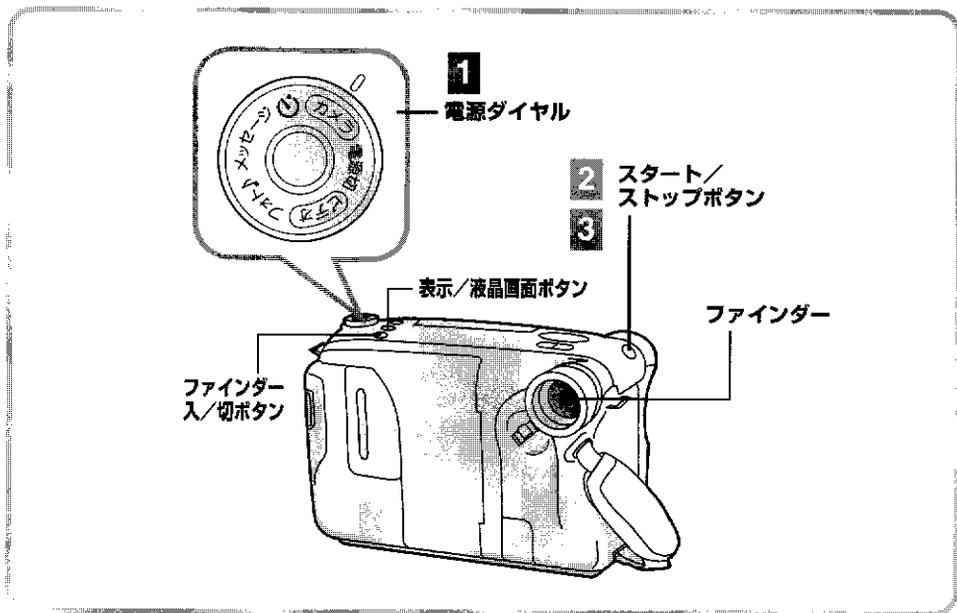
- 電源をこまめに切りましょう。バッテリーの消耗を防ぎます。
- 撮影一時停止を約5分以上続けると、節電のため自動的に電源が切れます。撮影を続けたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押してください。撮影一時停止の状態に戻ります。



ご注意ください

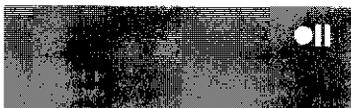
ビデオカメラを図のように立てて撮影すると、再生される映像は横になります。





A. ファインダーを見ながら撮影する

- 1** 電源ダイヤルを 'カメラ' にする
- ファインダー内に、撮影一時停止の映像が映ります。
 - ファインダー内に映像が出ないときは、ファインダー入/切ボタンを押してください。押すたびにファインダーの入/切を繰り返します。



ファインダー内

- 2** ファインダーをのぞき、スタート/ストップボタンを押して撮影を始める
- 設定されている日付や日時も、記録します。 **24**

- 3** 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す
- 撮影一時停止になります。



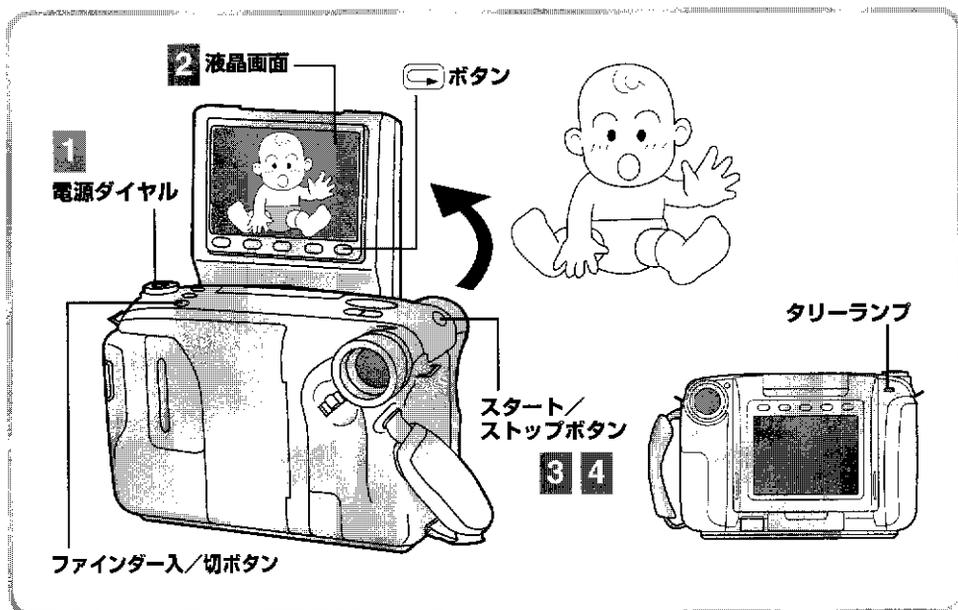
撮影が終わったら、撮影一時停止の状態ですべて電源ダイヤルを '電源切' にしてください。



液晶画面を使わないときは

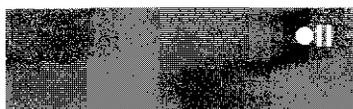
節電のため、表示/液晶画面ボタンを約1秒以上押し続けて画面を切っておきましょう。もう一度、表示/液晶画面ボタンを約1秒以上押し続けると画面が出ます。

撮影する (つづき)



B. 液晶画面を見ながら撮影する

- 1** 電源ダイヤルを 'カメラ' にする
●撮影一時停止になります。



液晶画面

- 2** 液晶画面を手前に起こす
●自動的に画面が反転し、被写体を液晶画面で見ながら撮影することができます。

- 3** 液晶画面を見ながら、スタート/ストップボタンを押して撮影を始める

- タリーランプが点灯します。
- 設定されている日付や日時も、記録します。📅

- 4** 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す
●撮影一時停止になります。

- 終了** 撮影が終わったら、撮影一時停止の状態ですべて電源ダイヤルを '電源切' にしてください。



ファインダー内の映像

液晶画面を起こすと、節電のためファインダーは自動的に '切' になります。ファインダーで映像を見るときは、ファインダー入/切ボタンを押してください。



液晶画面を起こしたり、戻したりするときは、撮影を一時停止してください。液晶画面の影が映ってしまうことがあります。



テープの途中から撮影するとき

テープの位置がずれて、再び撮影するときには前の記録が消えることがあります。撮影スタンバイやリテイク  で、撮り始めたいところを頭出ししてから、撮影を始めてください。

撮影の確認（クイックレビュー）

撮影一時停止の状態では  ボタン（リテイク 'R' ボタン）をポンと押すと、最後のシーンを約2秒間再生し撮影の確認ができます。確認が終わるともとの状態に戻ります。

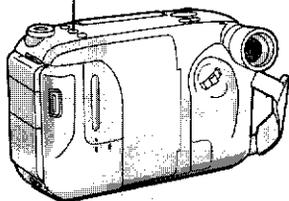
見たい場面を呼び出すために（インデックスの記録）

日付が変わったとき、またテープを入れかえて最初に録画スタートするとき、場面検索に便利なインデックス（VISS信号）を、自動的に記録します。記録中、液晶画面とファインダー内に「インデックス」の表示がでます。VISS（VHSインデックスサーチシステム）機能のついたVHSデッキで再生するとき、簡単にインデックスを記録した場面を呼び出すことができます。

液晶画面を使わないときは

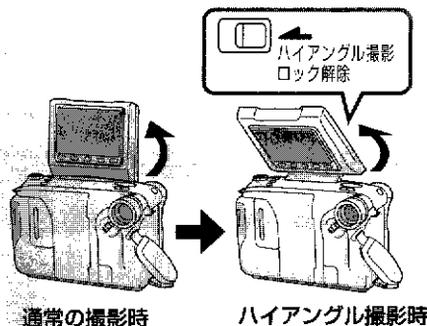
節電のため、表示/液晶画面ボタンを約1秒以上押し続けて、画面を切っておきましょう。もう一度、表示/液晶画面ボタンを約1秒以上押し続ければ画面が出ます。（電源ダイヤルを「電源切」にしてから、「カメラ」や「」にすると液晶画面に自動的に映像がでます。）

表示/液晶画面ボタン



高い位置からの撮影（ハイアングル撮影）

液晶画面は2段階に起こすことができます。高い位置からの撮影をするときなどは、ハイアングル撮影ロック解除スイッチをスライドさせ、液晶画面を手前にたおしてお使いください。



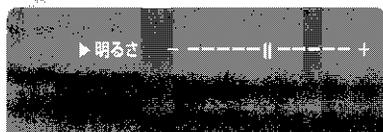
通常の撮影時

ハイアングル撮影時

液晶画面の明るさを調節する

お好みの明るさに、調節することができます。

1. メニューボタンを押してメニューを出します。  
- ▶ 明るさ が表示されます。



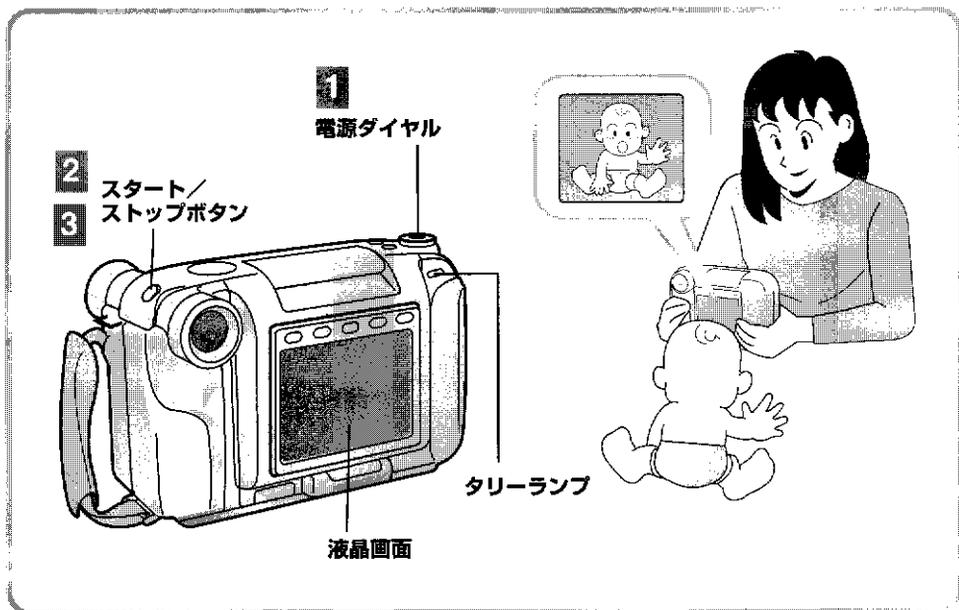
液晶画面

2.  ボタンか、 ボタンを押して画面の明るさを調節してください。
3. 調節が終わったら終了（）ボタンを押してください。メニューは消え、液晶画面の明るさが調節されます。
- ファインダーの明るさは変わりません。

液晶画面の取り扱い

傷つきやすいものですので、表面を強く押しついたり、強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。また、画面側を下に向けておかないでください。

撮影する (つづき)



C. 液晶画面を見せながら撮影する(対面撮影)

撮られる人に、画面を見せながら撮影することができます。(また、液晶画面と向かい合って、画面を見ながら自分を撮ることもできます。)

1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする

- 撮影一時停止になります。
- 液晶画面に、被写体が鏡を見るような感覚で映ります。
- 日付(オートデート設定時のみ)などの表示は左右反転して画面に表示されますが、記録上は反転しません。



液晶画面

テープ残量表示
(数字ではなくおおまかな
目盛で表示されます。)

2 スタート/ストップボタンを押して撮影を始める

- タリーランプが点滅し、点灯にかわります。
- 日付を記録したい場合はオートデートを選んでください。

3 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す

- 撮影一時停止になります。

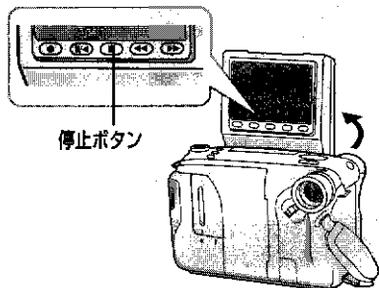
終了 撮影が終わったら、撮影一時停止の状態ですべて電源ダイヤルを '電源切' にしてください。



撮影スタンバイ

撮影後、内容を再生して見たりして、前回撮影した部分の終わりがわからなくなったとき、ボタンひとつで探すことができます。撮影後一度テープを取り出すと、撮影スタンバイができなくなります。

1. 撮影後、電源ダイヤルを 'ビデオ' にして再生や巻戻し、早送りなどお好みの操作をします。
2. 液晶画面を起こし、電源ダイヤルを 'カメラ' にして、**停止ボタン** を押します。



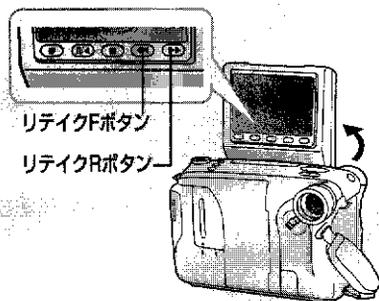
- 前回撮影した部分の終わりで、撮影一時停止になります。
 - 再生したときに、撮影スタンバイしたあとの編集点で、映像が乱れることがありますが故障ではありません。
 - 前回撮影した映像の最後が一部消えることがあります。撮影一時停止になったあと、リテイク (右説明参照) で撮り始めたいところを確認してください。
3. スタート/ストップボタンを押します。
 - 撮影を始めます。



撮影済みテープの途中から撮る (リテイク)

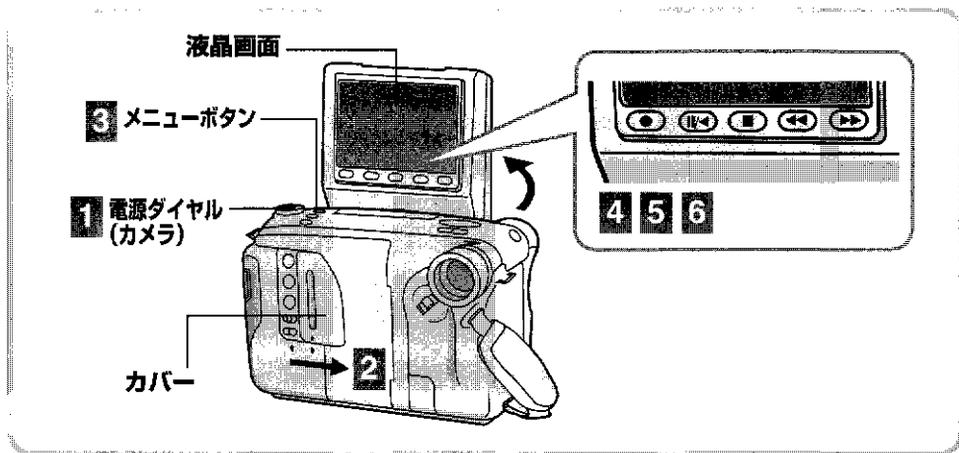
撮影中失敗したなと思ったときや、テープの途中から録画するとき、ボタンひとつで撮り始めたいところを探せます。

1. ビデオカメラにテープを入れ、液晶画面を起こして電源ダイヤルを 'カメラ' にしてください。
 - 撮影一時停止になります。
2. **リテイクRボタン** (リテイクR '逆転再生' ボタン) か、**リテイクFボタン** (リテイクF '正転再生' ボタン) を押し続けます。



- 再生画または逆転再生画と、音声が出ます。液晶画面かファインダー内で、つなぎ撮りしたいところを探します。
 - リテイク中、映像や音声が乱れることがあります。故障ではありません。
3. つなぎ直したいところでボタンから指を離します。
 - 撮影一時停止に戻ります。
 4. スタート/ストップボタンを押します。
 - 撮影を始めます。

撮影する(つづき)



日時を入れて撮る

撮影時に日時をテープに記録します。お好みの表示のしかたを選ぶことができます。(‘簡単オート’を選んでいるときはオートデートのみとなります。) 日時合わせがされていないと表示はできません。その場合は日時を合わせ直してください。

オートデート表示	日表示
<p>‘オートデート’ を選んでいるときに 表示します。</p> <p>■ 日付が変わったとき ■ テープを入れかえた とき ■ オートデートを選ん だあと</p> <p>最初に録画スタートする ときに約5秒間自動的 に日付を記録します。</p>	
	時表示
	日時表示

‘オンスクリーン’ と ‘切’ という文字は選んでも画面上は表示しません。

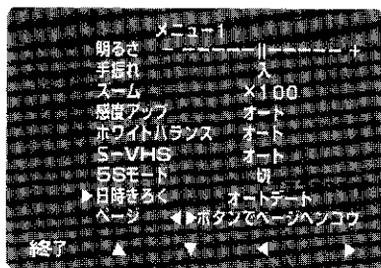
1 液晶画面を起こし、電源ダイヤルを‘カメラ’にする

2 カバーのマークを‘スタンダード’に合わせる

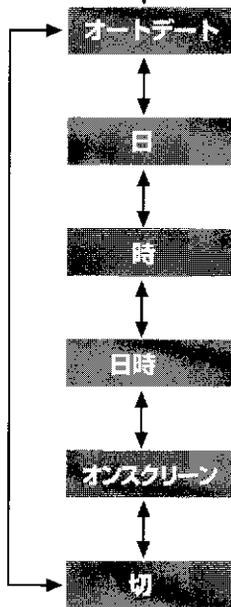
3 メニューボタンを押す
● 液晶画面に、メニューがでます。



液晶画面



液晶画面



日時表示が出ないときは

ボタン電池の容量が切れているなどの理由で、ビデオカメラの日時合わせがされていない場合は日時表示はできません。日時を合わせ直してください。また、対面撮影時はオートデートを選んでいるときのみ日付を表示します。

4 **◀▶** ボタンまたは **■** ボタンを押して '日時きろく' を選ぶ

- ▶が、◀▶ ボタンを押すごとに上に、**■** ボタンを押すごとに下に移動します。

5 **◀◀** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押してお好みの表示を選ぶ

- ボタンを押すごとに表示が切り換わります。
- 日時を記録したくないときは '切' を選んでください。

6 設定が終わったら **○** ボタンを押す

- メニューは消え、選んだ表示が設定されます。



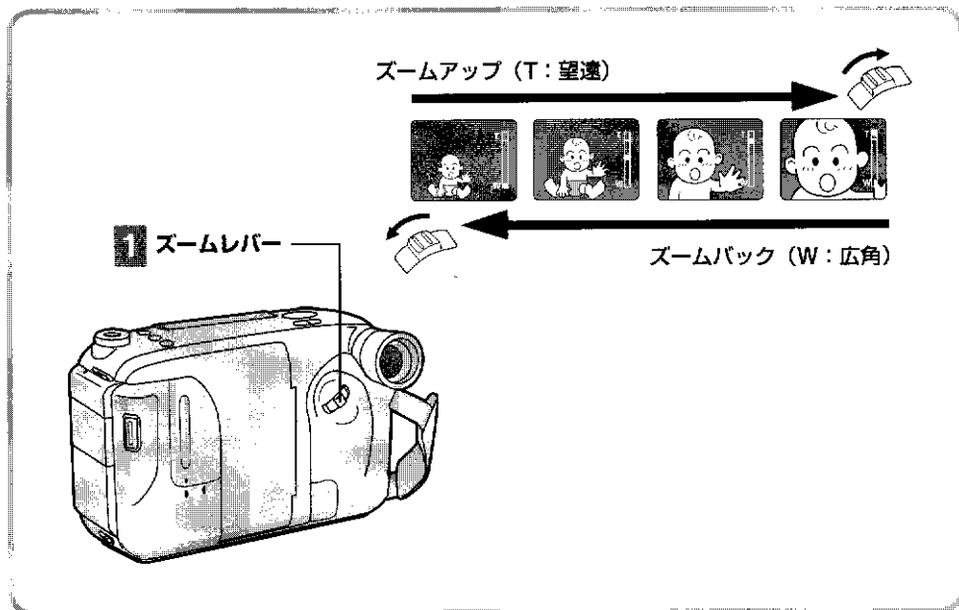
オートデートとは

日付が変わったとき、テープを入れ換えたとき、またオートデートを選んで最初に録画スタートするとき、約5秒間自動的に日付を記録します。撮影中に日付が変わったときも記録します。

オンスクリーンとは

- テレビとビデオカメラをつないだとき、電源ダイヤルを 'カメラ' にすると、液晶画面の表示をテレビで見ることができません。画面上に日付が表示され、記録されます。
- オンスクリーンでは、色のついていない撮影一時停止表示なども含め、表示はすべて白になります。

撮影する(つづき)



大きく撮りたいときは

ズームレバーで被写体のズームアップ/ズームバックができ、映像に変化をつけることができます。

1 ズームレバーを動かす

- ズームのスピードは軽く押すとゆっくり、強く押すと速くなります。



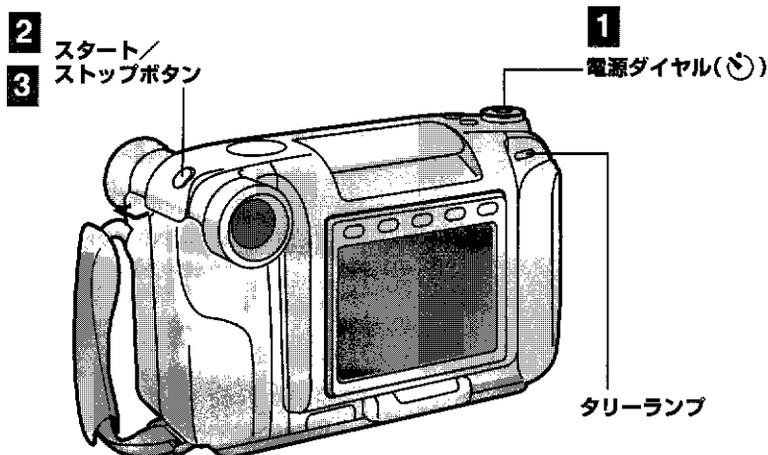
ズームの倍率を変えるには

簡単オートを選んでいるときは、自動的に20倍になります。お買い上げ時はスタンダードで100倍までに設定されていますが、10倍や20倍に変更することもできます。メニューでズームを選び、設定してください。

10倍以上のズーム（デジタルズーム）は、電気的な処理をしているため、10倍ズームより映像が劣化します。

マクロ撮影

ズームを広角側（W側）にし、レンズ前面から約1.5cmまで接写できます。被写体を画面の中央に入れてください。



セルフタイマー

ビデオカメラを固定して、撮影していた人も一緒に画面に入れます。

1 電源ダイヤルを「」にする
●撮影一時停止になります。

2 スタート/ストップボタンを押す
●タリーランプが点滅し、約15秒後に点灯にかわって撮影を開始します。

3 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す
●撮影一時停止になります。

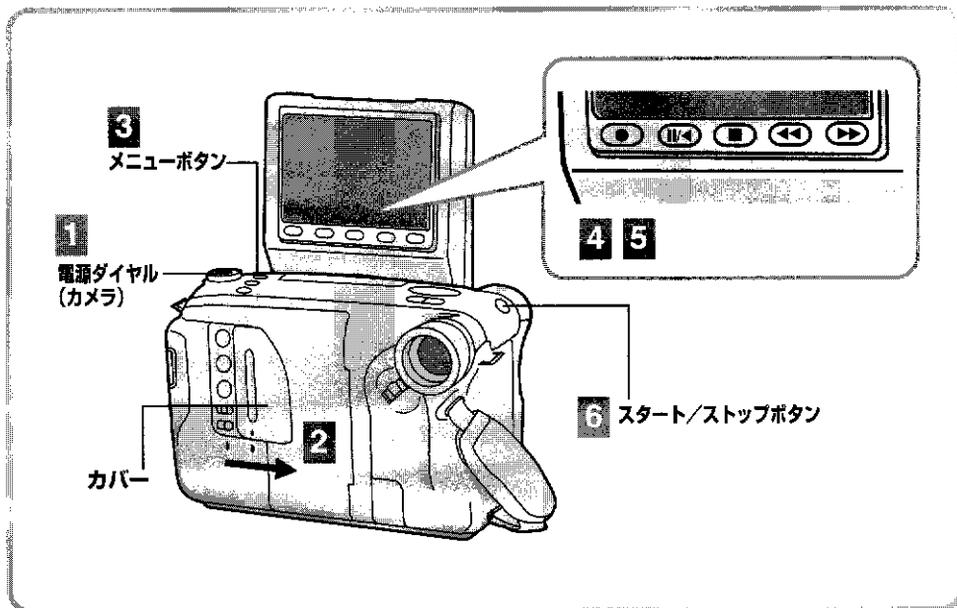
解除 通常の撮影に戻したいときは、電源ダイヤルを「カメラ」にしてください。



セルフタイマーを途中で解除したいときはタリーランプが点滅してからセルフタイマーを解除したい場合は、スタート/ストップボタンを押して撮影を一時停止し、電源ダイヤルを「カメラ」に合わせてください。

セルフタイマーと記念写真の組み合わせ
電源ダイヤルを「」にしてから記念写真ボタン  を押すと、記念写真のような静止画像を約4秒間セルフタイマー撮影できます。撮影後、通常の撮影に戻したいときは電源ダイヤルを「カメラ」にしてください。

撮影する(つづき)



5Sモード (5秒撮り)

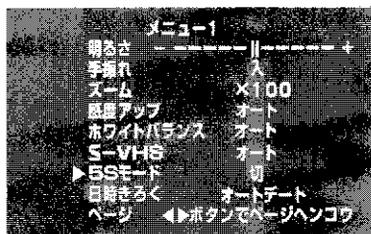
旅先などでの記念撮影、風景や名所の記録などを、5秒間ずつの映像と音声で残せます。テレビドラマのようなテンポのよい、飽きのこない映像を撮影できます。

1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする

2 カバーのマークを 'スタンダード' に合わせる

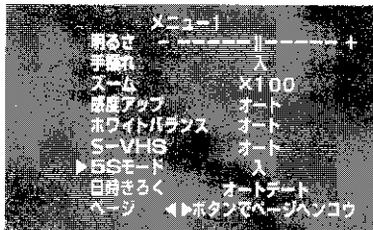
3 メニューボタンを押す
●液晶画面に、メニューがでます。

4 **II/◀** ボタンまたは **■** ボタンを押して '5Sモード' を選ぶ
●ボタンを押すことに▶が移動します。



液晶画面

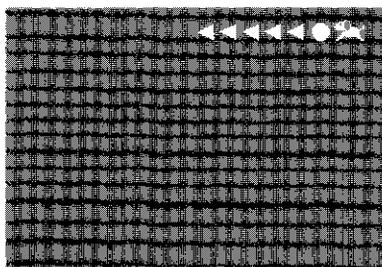
5 ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して‘入’にする



- 設定が終わったら終了(●)ボタンを押してください。メニューは消え、‘5Sモード’が設定されます。

6 スタート/ストップボタンを押す

- タリーランプが点灯して5秒間の撮影をし、撮影一時停止になります。5秒以内にスタート/ストップボタンを押しても撮影は停止しません。必ず5秒間は撮影します。
- 液晶画面またはファインダー内の向かって右上に◀◀◀◀◀が表示され、1秒撮影するごとに◀がひとつずつ消えていきます。



液晶画面

解除 設定を取り消したいときは、もう一度 ④～⑤ の操作をして‘5Sモード’を‘切’にしてください。



5秒以上撮影を続けなくなったときは

撮影中、または最初から、5秒以上スタート/ストップボタンを押し続けます。スタート/ストップボタンを押している間は撮影を続けることができます。

5Sモードとセルフタイマー ② の組み合わせ

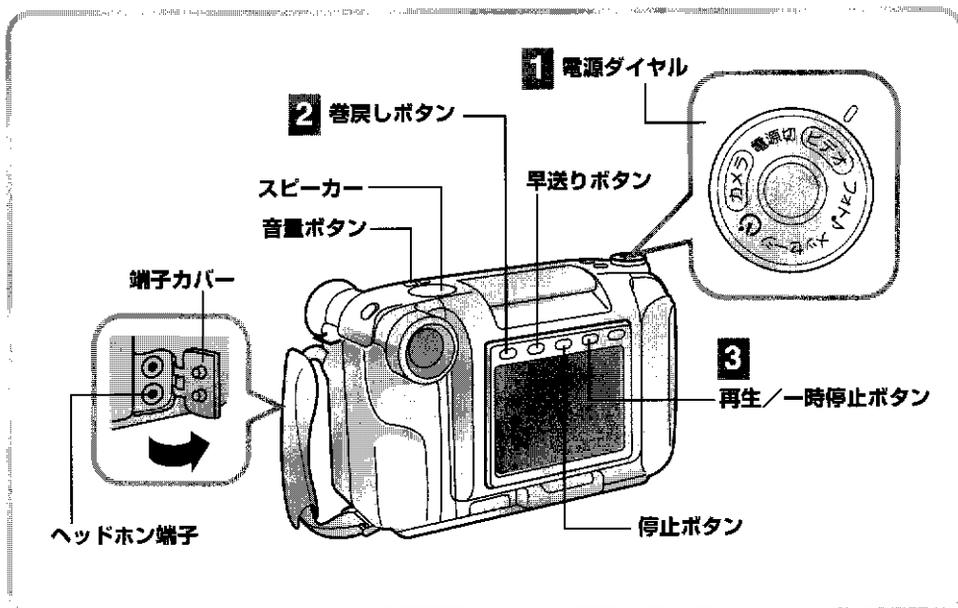
5Sモードを設定してから、電源ダイヤルを‘’にすると、5秒間のセルフタイマー撮影ができます。撮影後、通常の撮影に戻したいときは電源ダイヤルを‘カメラ’にしてください。

5Sモードでは場面切替 ③ はできません

液晶画面またはファインダー内に、選んだ場面切替のマークが点滅します。

再生する

撮影した映像を、液晶画面で見ることができます。



1 電源を準備し、電源ダイヤルを
‘ビデオ’にする

2 巻戻しボタンを押す
●テープの始めまで巻き戻すと自動的に
停止します。

3 再生ボタンを押す
●液晶画面に映像が映ります。
●音声はスピーカーまたは市販のヘッド
ホンをヘッドホン端子に接続して
聞くことができます。音量は‘音量ボ
タン’で調節します。

終了 再生をやめたいときは、停止ボタン
を押し、電源ダイヤルを‘電源切’に
してください。



電源ダイヤルが‘ビデオ’のときは

ファインダー内に映像は出ません。液晶画面を
ご覧ください。

テープの早送り／巻き戻し

停止ボタンを押してから、早送りボタンまた
は巻戻しボタンを押します。テープの初めや
終わりまで早送りや巻戻しをすると自動的に
停止します。

早送り／巻き戻ししながら見る

●再生中に、早送りボタンまたは巻戻しボタ
ンをポンと一度押すと、高速再生します。見
たいシーンで再生ボタンを押してください。
通常再生になります。

●指を離さずに早送りボタンや巻戻しボタ
ンを押し続けると、高速で再生します。見たい場
面で指を離せば通常再生になります。



テープの走行量を時間で確認する

テープカウンター
時：分：秒



液晶画面

再生途中でカウンターを 0:00:00 に戻したいときは、メニューでカウンターのリセットを選び、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押してください。[46] [47]

- カウンター値は無記録部分では変わりません。
- テープを取り出すと、0:00:00 に戻ります。
- 0:00:00 を越えて巻きもどすと、一が表示されます。

自動的にテープを止める (カウンターメモリー)

テープの巻戻し/早送りを自動的に止めることができます。

1. テープを止めたい場面で停止にし、メニューでカウンターのリセットを選び、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押してください。[46] [47]
 - カウンター値は 0:00:00 になります。
2. メニューでカウンターのメモリーを選び、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押してください。[46] [47]
 - カウンター値は M 0:00:00 になります。

テープが停止した状態で、巻戻しボタンや早送りボタンを押すと 0:00:00 付近で自動的に停止し、再生ボタンを押せばそこから映像を見ることができます。カウンターメモリーの必要がないとき (取り消したいとき) はメニューでカウンターのメモリーを選び、'しない' にしてください。

再生画を一時止めるには (静止画再生)

- 再生中に一時停止ボタンを押します。再生に戻りたいときは再生ボタンを押します。
- 一時停止を約 5 分以上続けると、テープ保護のため自動的に電源が切れます。

高速再生/静止画再生中は

- 画面にノイズが出ますが故障ではありません。特に録画モードがSPの場合はノイズが多くなります。
- 音声は出ません。



音声について

- ヘッドホンを使うときは、端子カバーを開けてください。
- ヘッドホンを差しているときはスピーカーから音声は出ません。
- 音声は、HiFi/ミックス/ノーマル [48] に切り替えることができます。メニューでオーディオを選び、設定してください。[46] [48] 通常はHiFiをおすすめします。(ミックスを選ぶと音が聞きづらいことがあります。)

画面にノイズが出てきたら

このビデオカメラはオートトラッキング機能付きです。トラッキングは自動的に合い、ノイズは取り除かれますが、合いにくい場合は以下のように手で調節してください。

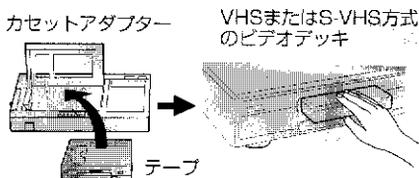
1. 再生中にメニューでトラッキングを選び、'マニュアル' にしてください。[46] [47]
2. ズームレバーを動かして、画面と音声がよくなるよう調節します。

オートトラッキングに戻りたいときは、メニューでトラッキングを選び 'オート' にします。

- テープを取り出すと、トラッキングはオート (調節する前) の状態に戻ります。
- 他のビデオカメラやビデオデッキで録画されたテープは、十分に調節できないことがあります。

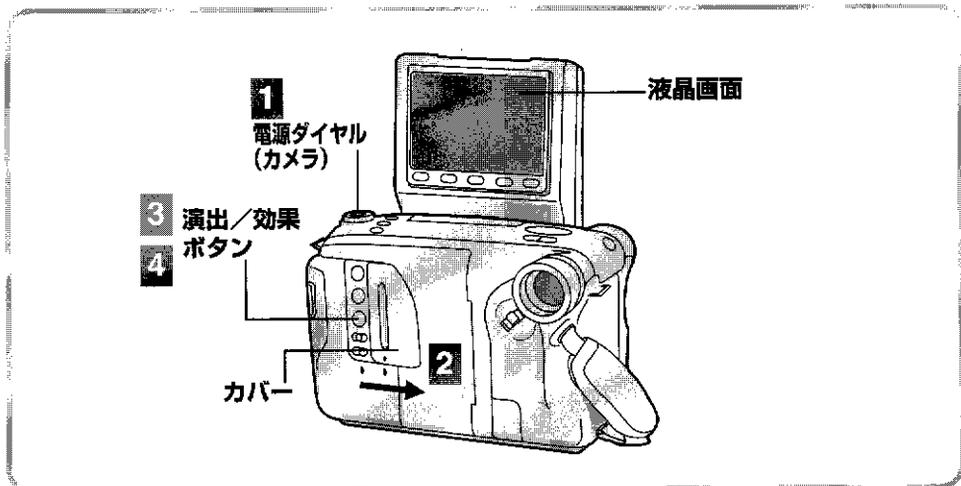
VHS-Cテープをデッキで見るとは

カセットアダプター G-P6 (別売) を使えば、そのままビデオデッキで見ることができます。S-VHS記録したテープは、S-VHSまたはSQPB (S-VHS簡易再生機能) 付ビデオデッキで再生してください。



映像に変化をつける（演出／効果）

演出／効果には5種類の機能があります。それぞれの場面にあった機能を選んで使えば、今までにない演出／効果が楽しめます。



1 電源ダイヤルを‘カメラ’にする

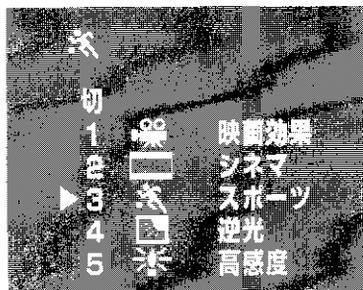
2 カバーのマークを‘スタンダード’に合わせる

3 演出／効果ボタンを押す
●液晶画面に、メニューが出ます。



液晶画面

4 もう一度、演出／効果ボタンを押す
●ボタンを押すことに ▶ が移動します。お好みの項目を選んでください。



●約3秒後にメニューは消え、液晶画面に選んだ項目のマークが表示され機能が設定されます。

解除 設定を取り消したいときは、演出／効果ボタンを2回押します。（メニューが出て、▶が‘切’を選びます。）

🎬 映画効果

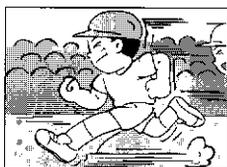


上下に黒い帯を入れた横と縦の比率が16:9のヨコ長画面でコマ落とし効果を出し、映画のように幻想的な映像を撮影することができます。

🎬 シネマ

上下に黒い帯を入れた横と縦の比率が16:9のヨコ長画面で、映画のように撮影することができます。

🏃 スポーツ



運動会での撮影など、動きのある被写体を撮るときに効果的です。スロー再生や静止画再生機能のついたビデオデッキで再生したとき、

被写体をブレの少ない映像で楽しめます。

- シャッタースピードが周囲の明るさに応じて自動的に1/250秒~1/500秒に変化します。

📷 逆光(逆光補正)



逆光で撮影するとき、また白い背景で黒っぽいものを撮影するときなどは、'逆光' を使ってください。被写体が黒くつぶれてしまうのを防ぎます。

🌟 高感度



シャッターの速度を遅くして(1/15秒)暗くて映らなかったものも、明るく浮かび上がらせて撮影します。

- コマ落としのような映像になります。
- 暗いところでのみお使いください。明るいところで使うと映像は白っぽくなります。
- 手動フォーカス表示が出て、点滅することがあります。その場合は手動でピントを合わせてください。⁴⁰



映画効果、高感度を設定しているときは

- 手振れ補正²⁸ が動きません。
- ピントが合わないときは手動で合わせ、⁴⁰三脚などで固定して撮影してください。
- オーバーラップフェーダー³⁷ は使えません。

場面切替と併用できます

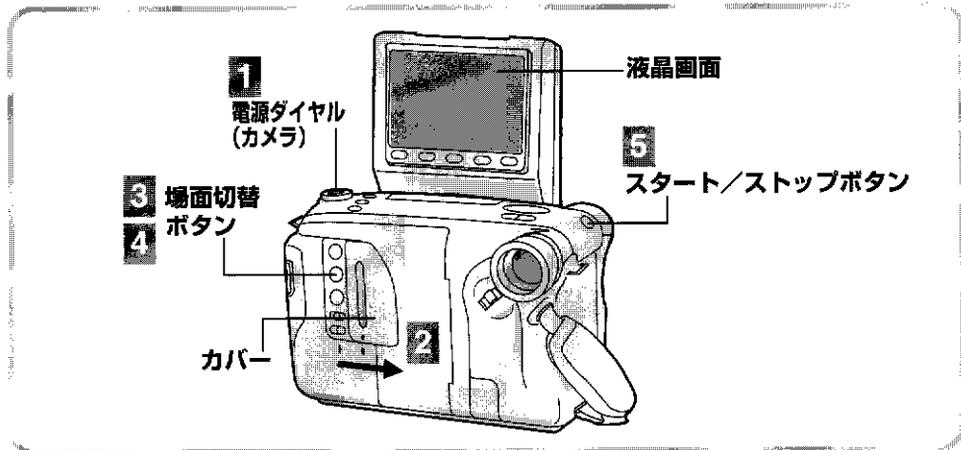
演出/効果を使っている撮影時に、場面切替³⁶を設定しておく、一段といろいろな映像をお楽しみいただけます。(併用できない機能は表示が点滅します。)

撮影中にも演出/効果が選べます

撮影中でも、演出/効果を選択することができます。メニュー画面は録画されません。選択が終わると画面は通常に戻ります。

場面のつなぎに変化をつける(場面切替)

場面切替にはフェーダー(フェードイン/フェードアウト)と、ワイブ(ワイプイン/ワイプアウト)の2種類があります。場面の切り替えに変化をつけることができ、後で編集をするときにも便利です。



1 電源ダイヤルを「カメラ」にする

2 カバーのマークを「スタンダード」に合わせる

3 場面切替ボタンを押す
●液晶画面に、メニューがでます。

4 もう一度、場面切替ボタンを押す
●押すごとに ▶ が移ります。お好みの項目を選んでください。



液晶画面

●約3秒後にメニューは消え、選んだ項目のマークが表示されます。



5 スタート/ストップボタンを押す

- 撮影と同時にフェードイン、ワイプインが始まります。
- スタート/ストップボタンを押すごとにフェード/ワイプアウト、フェード/ワイプインを繰り返します。
- オーバーラップフェーダーは、右ページの手順でおこなってください。

解除 設定を取り消したいときは、場面切替ボタンを2回押します。(メニューが出て、▶が「切」を選びます。)



フェーダーやワイブを長びかせたいときはスタート/ストップボタンを押し続けてください。その間はフェーダーやワイブの状態が続きます。

撮影中にも場面切替が選べます

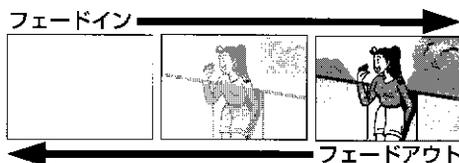
撮影中でも、場面切替を選択することができます。メニュー画面は録画されません。選択が終わると画面は通常に戻ります。

演出/効果と併用できます

場面切替を使っでの撮影時に、演出/効果 34 を設定しておく、一段といういろいろな映像をお楽しみいただけます。(併用できない機能は表示が点滅します。)

フェーダー

撮影の始めと終わりに、白い画面などを入れて場面の切り替えに変化をつけます。



(例) 白フェーダー

白フェーダー

白い画面で、フェードイン/アウトします。

黒フェーダー (オートセレクト選択時のみ)

黒い画面で、フェードイン/アウトします。

オーバーラップフェーダー

まず撮影してください。撮影ストップしたときの映像を記憶します。5分以内に次の撮影を始めると記憶した映像から次の撮影の映像が、徐々に浮かび上がっていくようにフェードインします。

●電源は入れたまま操作してください。電源が切れると、最後に記憶した場面が消去されてしまいます。

●最後の場面が消去された場合、オーバーラップフェーダーの表示が点滅します。撮影をして記憶させてください。

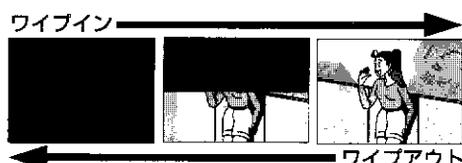
●暗い場所でオーバーラップフェーダーを使うと、画面が明るくなったり暗くなったりすることがありますが故障ではありません。

モザイクフェーダー

画面全体にモザイクがかかったようにフェードイン/アウトします。

ワイプ

撮影の始めと終わりに、黒い画面を重ねて場面の切り替えに変化をつけます。



(例) スクロールワイプ

ウィンドウワイプ

黒い画面の中心から映像が徐々にワイプイン、画面の中心へワイプアウトします。

ドアワイプ

黒い画面から、左右にドアを開けていくように映像がワイプイン、閉めていくようにワイプアウトします。

コーナーワイプ (オートセレクト選択時のみ)

黒い画面の右上から左下へ、映像が徐々にワイプイン、左下から右上へワイプアウトします。

スクロールワイプ (オートセレクト選択時のみ)

黒い画面に新しい映像が、下から上へ徐々にワイプイン、上から下へワイプアウトします。

スライドワイプ (オートセレクト選択時のみ)

黒い画面の右から左へ、映像が徐々にワイプイン、左から右へワイプアウトします。

シャッターワイプ (オートセレクト選択時のみ)

黒い画面の中央から上下に、映像が徐々にワイプイン、上下から中央にワイプアウトします。

オートセレクト

7種類のフェーダーやワイプを自動的に設定し、場面を切り替えていきます。

A ウィンドウワイプ → A ドアワイプ → A コーナーワイプ → A スクロールワイプ

↑
 A 黒フェーダー ← A シャッターワイプ ← A スライドワイプ ←

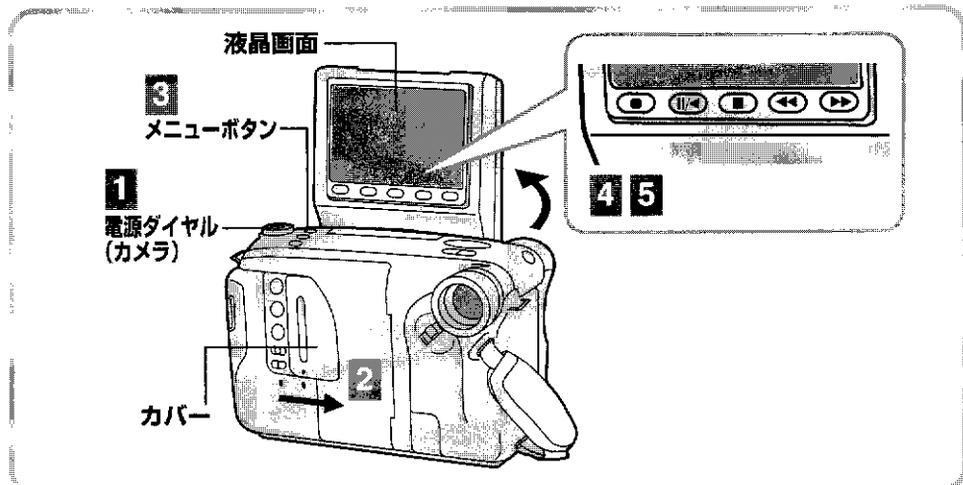
1 スタート/ストップボタンを押す

●撮影中、スタート/ストップボタンを押すごとに、フェードイン/アウト、ワイプイン/アウトを繰り返して撮影していきます。

●マークの右側に 'A' が表示されます。

ホワイトバランスを調節する

このビデオカメラはオートホワイトバランス機能付きです。ホワイトバランスは自動的に合い、自然な色合いに写りますが、照明条件に合わせて色合いを変えることもできます。



オート	自動調整します。
クモリ ☁	くもり空や日陰で撮影するとき
ハレ ☀	晴れた日に屋外で撮影するとき
ハロゲン 🔦	ビデオライトなどの照明を使って撮影するとき
ワンタッチ 📧	いろいろな光の当たっているものを撮影するとき

1 液晶画面を起こし、電源ダイヤルを‘カメラ’にする

2 カバーのマークを‘スタンダード’に合わせる

3 メニューボタンを押す
●液晶画面に、メニューがでます。

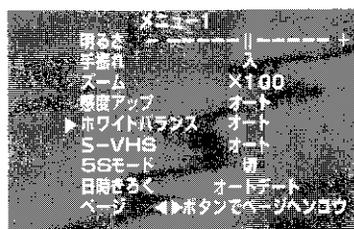
4 ◀▶ボタンまたは◻ボタンを押して、▶を‘ホワイトバランス’に合わせる

●ボタンを押すごとに▶が移動します。

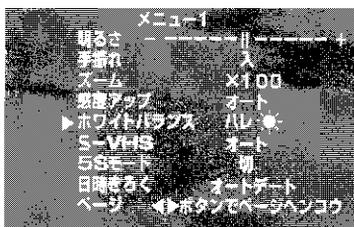


ホワイトバランスとは

- 照明がろうソクのときと蛍光灯のときとでは、人間の目で見て同じ色でもビデオカメラで撮ると違った色になります。それを白を基準として調節し、自然な色合いに映るようにする機能です。
- ‘簡単オート’を選んでいるときは、ホワイトバランスは自動調節のみとなります。



5 ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、お好みの設定にする



- 設定が終わったら終了 (●) ボタンを押してください。メニューは消え、液晶画面に選んだ項目のマークが表示されます。



（'ワンタッチ' を使って色合いを変えたいときのみ、右の手順を続けておこなってください。）

ワンタッチ

いろいろな光（外光、蛍光灯、ロウソクなど）に合わせて、色合いを調整します。

6 被写体とビデオカメラのレンズの間に白い紙を置き、画面いっぱいに写す

7 ▶▶ ボタンを押し続け、'ワンタッチ' が点滅したら手を離す

- 点滅が止まれば設定終了です。



- 設定が終わったら終了 (●) ボタンを押してください。メニューは消え、液晶画面に 'ワンタッチ' のマークが表示されます。



'ワンタッチ' で色合いを設定すると

'ワンタッチ' で設定した色合いは、電源（バッテリー、ACパワーアダプター、ボタン電池）をはずしても記憶されています。

色紙でホワイトバランスを合わせる

'ワンタッチ' で白い紙のかわりに、色紙などを使うと、その色を基準に色合いを調節し、少し変わった色合いの撮影を楽しめます。

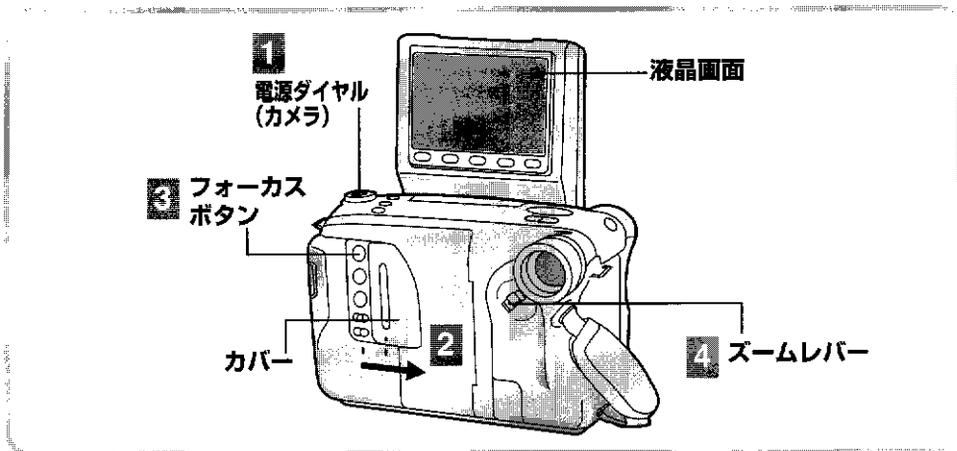
例：赤い紙で合わせた場合 → 緑がかった色
青い紙で合わせた場合 → オレンジがかった色
黄色い紙で合わせた場合 → 青みがかった色
緑色の紙で合わせた場合 → 紫がかった色

解除

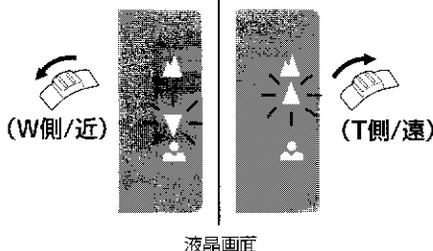
設定を取り消したいときは、もう一度同じ操作をして 'ホワイトバランス' を選び、'オート' にしてください。

ピントを合わせる(フォーカス)

ピントは、約1.5cmから無限遠まで、自動的に合います。合いにくい場合や被写体が画面中央にないときなどは、手動でピントを合わせることをおすすめします。



- 1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする
- 2 カバーのマークを 'スタンダード' に合わせる
- 3 フォーカスボタンを押す
●液晶画面に、手動フォーカス表示が出ます。
- 4 フォーカスボタンを押しながらズームレバーでピントを合わせる



- ピントが最遠点、最最近点になると ▲ ● がそれぞれ点滅します。目安としてお使いください。
- ズームレバーから指を離すと、ピントは固定されます。

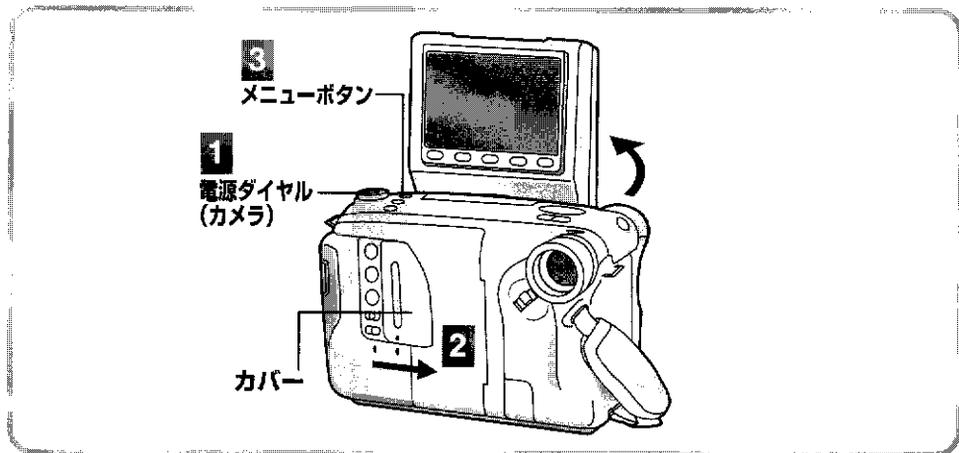
解除 ピントを自動 (オートフォーカス) に戻したい時は、もう一度フォーカスボタンを押すか、カバーのマークを '簡単オート' に合わせてください。

- ピントが合いにくい場所や場合**
- 平らな壁や青空などコントラスト (明暗差) のほとんどない被写体を撮る場合
 - 金網などの障害物が、被写体との間にある場合
 - 暗い場所
 - 細かい模様や、同じ模様が規則正しく並んでいる被写体
 - 蛍光灯などのちらつきのある光源の下での撮影の場合

- ピントが合わない**
- 汚れやつゆつきなどでレンズにくもりがあると正しいピント合わせができません。汚れは柔らかい布などでふき取り、つゆつきは消えるまで待って撮影してください。
 - ズームアップ状態でコントラストのほとんど無い被写体を撮影すると ▲ ● が点滅し、ピント合わせのため自動的にズームバックします。

暗いところで撮影する(感度アップ)

暗いところで撮影するための機能です。'感度アップ'には'オート'と'切'と'AGC'の3種類があります。用途に合わせてお使いください。



オート	撮影場所の明るさに合わせて、自動的にシャッターの速度(1/30~1/200秒)を変え、被写体を明るく撮ることができます。暗い場所ではシャッターの速度が遅くなり、映像が多少コマ落しのように不自然になります。
切	暗いシーンをそのままの暗さで撮影します。
AGC	暗い場所でも撮影できるように、映像を電氣的に処理し、明るく撮ることができます。多少映像がザラザラした感じになりますが、'オート'より被写体の動きは自然です。

- 1** 電源ダイヤルを'カメラ'にする
- 2** カバーのマークを'スタンダード'に合わせる
- 3** メニューボタンを押し、'感度アップ'をお好みの設定にする

解除 通常の撮影に戻したい時は、メニューボタンを押し、'感度アップ'を'オート'にしてください。

応用

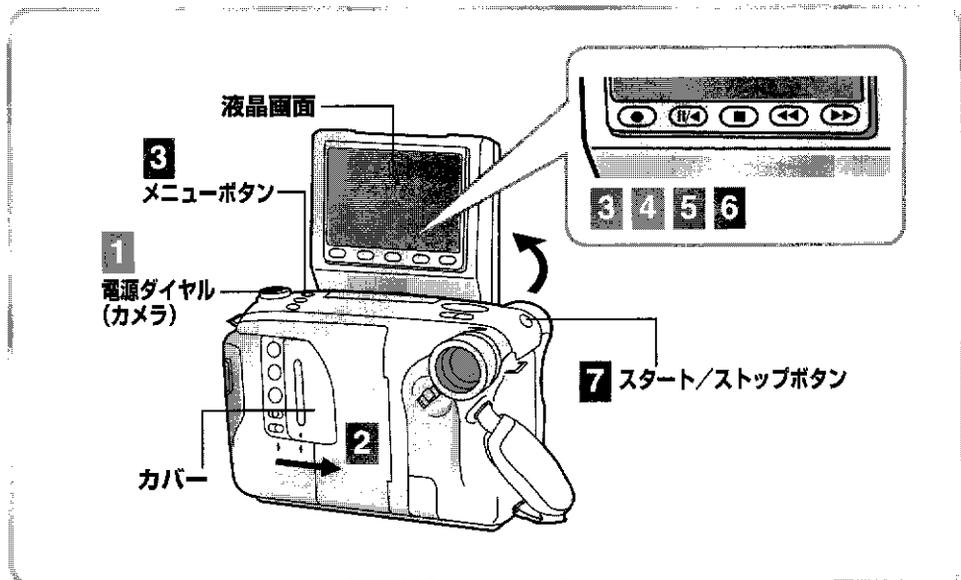


- '簡単オート'を選んでいるときは、感度アップは自動的に'オート'になります。
- 場面切替のオーバーラップフェーダーで場面を記憶しているときは、感度アップを'オート'にしても暗い場所で明るくなりません。
- 暗いところでの撮影に使う機能には、他に'高感度'もあります。(1/15秒のシャッタースピードで撮影します。)

● 感度アップを'オート'にして、暗い場所で撮影をすると、手振れ補正が働かないことがあります。また電氣的な処理もおこないますので多少映像がザラザラした感じになることがあります。

ワイドテレビ対応の撮影をする

ワイドテレビ（画面比率16：9の横長テレビ）に対応した撮影ができます。再生時に映像を自然な感じでお楽しみいただけます。お使いになるワイドテレビの取扱説明書もお読みください。

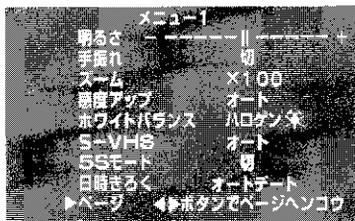


1 電源ダイヤルを「カメラ」にする

2 カバーのマークを「スタンダード」に合わせる

3 メニューボタンを押し、**II<** ボタンを押す

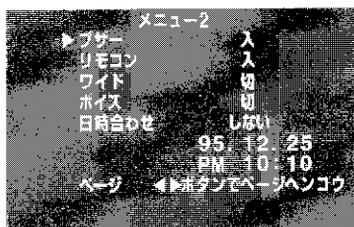
●液晶画面にメニューがでて、▶が「ページ」に移動します。



液晶画面

4 **II<** ボタンまたは **II>** ボタンを押す

●メニュー2の画面になります。



液晶画面

5 **II<** ボタンまたは **II>** ボタンを押して「ワイド」を選ぶ

●ボタンを押すごとに▶が移動します。

6

◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタン
を押して '入' にする



液晶画面

- 設定が終わったら終了 (●) ボタンを押してください。メニューは消え、液晶画面に 'ワイド' のマークが表示されます。



7

スタート/ストップボタンを
押して撮影を始める

- ワイドテレビ対応の撮影をすることができます。

解除

通常の撮影に戻りたいときは、もう一度同じ操作をして、'ワイド' を '切' にしてください。



ワイドテレビ対応の撮影中は

オーバーラップフェーダー  は使えません。液晶画面とファインダー内に、オーバーラップフェーダーのマークが点滅します。

ワイドテレビ対応の撮影とは

ワイドで撮影すると、特殊な信号(識別信号)が記録されます。識別信号を判別する機能付きワイドテレビと、ビデオカメラをS映像コードでつなぐと、再生時に映像が自動的に横方向に広がり、自然な感じで再生します。

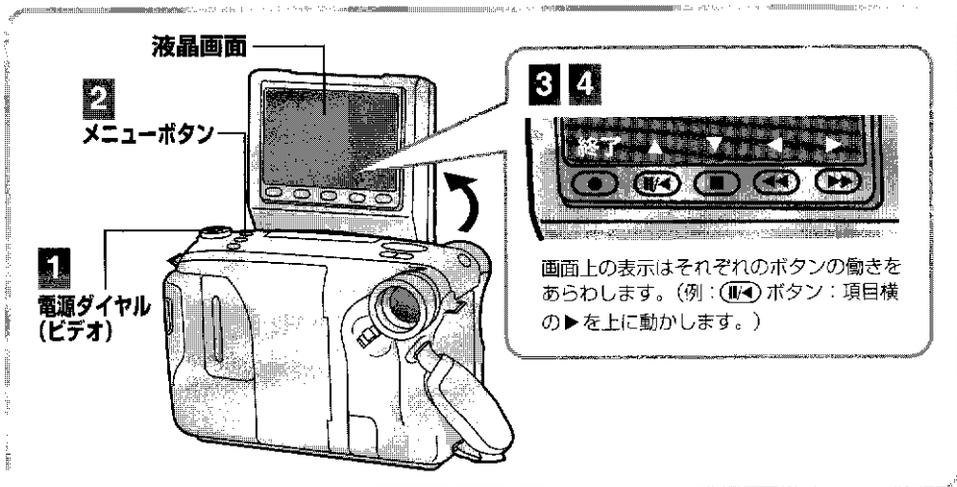
- 自動判別できないワイドテレビではテレビ側で手動で切り替えてください。
- お使いのワイドテレビとビデオデッキに識別信号を判別する機能がついている場合、S映像コードでビデオカメラとつなぐと、映像と一緒に識別信号を記録することができます。識別信号を判別する機能のないビデオデッキでは識別信号はダビングできません。ダビングしたテープを再生するときは、テレビ側で手動で切り替えてください。
- 撮影中や、通常のテレビでの再生では、縦長の映像になります。

応用

メニュー 1	明るさ		液晶画面の明るさを調節します。	21
	手振り	入	手振り補正が働きます。	28
		切	手振り補正は働きません。	
	ズーム	×10	10倍までのズームができます。映像を電氣的に処理しないため、最もきれいな撮影ができます。	26
		×20	20倍までのズームができます。映像を電氣的に処理(デジタルズーム)し、より大きく撮影できます。	
		×100	100倍までのズーム(デジタルズーム)ができます。	
	感度アップ	オート	撮影場所の明るさに合わせて、自動的にシャッターの速度を変え、被写体を明るく撮ることができます。	41
		切	暗いシーンをそのままの暗さで撮影します。	
		AGC	暗い場所でも撮影できるように、被写体を明るく撮ることができます。電氣的な処理をしているため、多少映像がザラザラした感じになります。	
	ホワイトバランス	オート	ホワイトバランスを自動的に設定します。	36
		クモリ	曇りの日はこの位置で。	
		ハレ	晴れの日はこの位置で。	
		ハロゲン ワンタッチ	ビデオライトなどの照明を使って撮影するとき。 いろいろな光の混ざった被写体を撮影するとき。	
	S-VHS	オート	S-VHS-Cテープを使うと、S-VHS記録をします。	35
		切	テープの種類にかかわらず、VHS記録をします。	
	5Sモード	切	5Sモードを取り消します。	30
		入	5Sモードを設定します。	
	日時きらく	オートデート	録画スタートするときに約5秒間、自動的に日時を記録します。	24
		日	日付のみ記録します。	
時		時間のみ記録します。		
日時		日付と時間を記録します。		
オンスクリーン		テレビとビデオカメラをつないだとき、液晶画面の表示をテレビで見ることができます。		
メニュー 2	ブザー	入	撮影のスタート/ストップなどの操作を受け付けたことを音で知らせます。記念写真効果音も出ます。	—
		切	音を出したくないときに。	
	リモコン	入	リモコンを受け付けます。	—
		切	リモコンを受け付けません。	
	ワイド	入	ワイドテレビ対応の撮影をします。	42
		切	通常の撮影をします。	
	ボイス	入	風の音や雑音が入りにくくなります。	—
		切	自然のままの音を収録します。	
	日時合わせ	する	日時を合わせます。	69
		しない	日時を合わせる必要のないときに。	
ページ		メニューが変わります。(メニュー1とメニュー2)	34	

：通常はこの位置でお使いになることをおすすめします。

メニューを使って機能設定する(つづき)



電源ダイヤルが「ビデオ」の場合

7種類を設定することができます。(右ページ一覧表参照)

電源ダイヤルが「カメラ」の場合は、13種類の機能を設定することができます。

1 電源ダイヤルを「ビデオ」にする

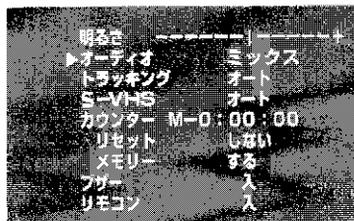
2 メニューボタンを押す

●液晶画面に、メニューがでます。

3 (II◀) ボタンまたは (■) ボタンを押して好みの項目を選ぶ

●ボタンを押すごとに▶が移動します。

4 (◀◀) ボタンまたは (▶▶) ボタンを押して「入」または好みの設定にする



液晶画面

●設定が終わったら (●) ボタンを押してください。メニューは消え、選んだ項目が設定されます。

解除

設定を取り消したいときは、もう一度同じ操作をして「切」「しない」などを選んでください。

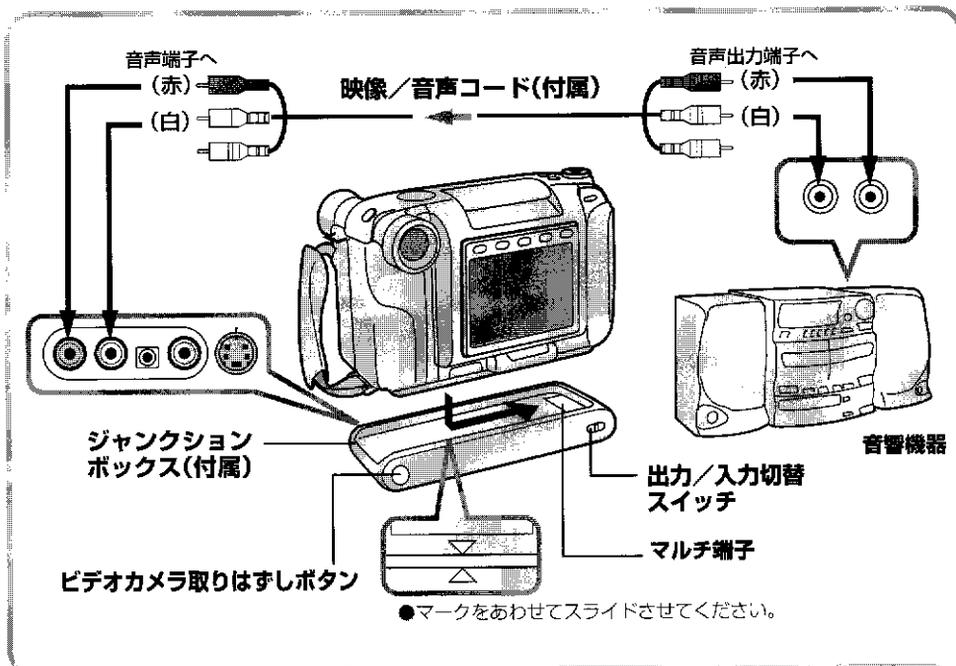
明るさ		液晶画面の明るさを調節します。	21
オーディオ	HIFI	HIFI音声が聞こえ、また出力されます。	22
	ミックス	HIFI音声+ノーマル音声が聞こえ、また出力されます。	
	ノーマル	ノーマル音声が聞こえ、また出力されます。	
トラッキング	オート	トラッキングを自動的に調整します。	23
	マニュアル	トラッキングを手動で調節したいときに。	
S-VHS	オート	S-VHS-Cテープを使うと、S-VHS記録をします。	23
	切	テープの種類にかかわらず、VHS記録をします。	
カウンター		テープの走行時間が分かります。	23
リセット	する	カウンターをリセットします。	
	しない	カウンターをリセットする必要がないときに。	
メモリー	する	カウンターメモリーを設定するときに。	
	しない	カウンターメモリーの設定が必要ないときに。	
ブザー	入	再生や、アフレコ/インサートのスタートなどの操作を受け付けたことを、音で知らせます。	-
	切	音を出したくないときに。	
リモコン	入	リモコンを受け付けます。	-
	切	リモコンを受け付けません。	

■：通常はこの位置でお使いになることをおすすめします。

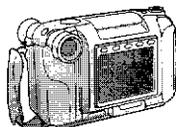
応用

フォトミュージックビデオを作る

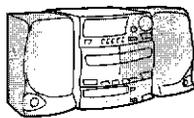
音楽をダビングしたVHS-Cテープにお手持ちの写真を映像として記録した、オリジナルテープを作ることができます。



用意するもの



ビデオカメラ



ご家庭の音響機器



編集したい音楽



編集したい写真



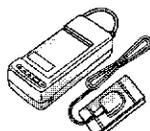
VHS-Cテープ(別売)



ジャンクションボックス



映像/音声コード



ACパワーアダプター(別売)



市販のヘッドホン

準備する

1 ビデオカメラをジャンクションボックスに取り付ける

- ビデオカメラとジャンクションボックスのマークを合わせて置き、矢印方向に突き当たるまでスライドさせます。
- 取り外すときは、ビデオカメラ取りはずしボタンを押しながらビデオカメラを矢印方向と反対にスライドさせます。

2 ビデオカメラに電源を取り付ける

3 ジャンクションボックスを音響機器(コンパクトコンポなど)とつなぐ

- ジャンクションボックスの出力/入力切替スイッチを「入力」にします。

4 ビデオカメラにテープを入れる

- テープにツメがあることを確認してください。



ジャンクションボックスのマルチ端子は手でふれたり、かたい物を当てたり、絶対にしないでください。ピンがこわれて接触が悪くなり、使えなくなります。



電源はACパワーアダプターをおすすめします

バッテリーをお使いになると、編集の途中で容量不足で電源が切れることがあります。ACパワーアダプター(別売)をお使いになることをおすすめします。

音響機器について

音声出力端子付きの音響機器をお使いください。音声出力端子が無い場合は、ヘッドホン端子を代用として使えます。オーディオ接続コード(別売)でヘッドホン端子とジャンクションボックスを接続してください。ご家庭の音響機器(コンパクトコンポなど)の取扱説明書もよくお読みください。

応用



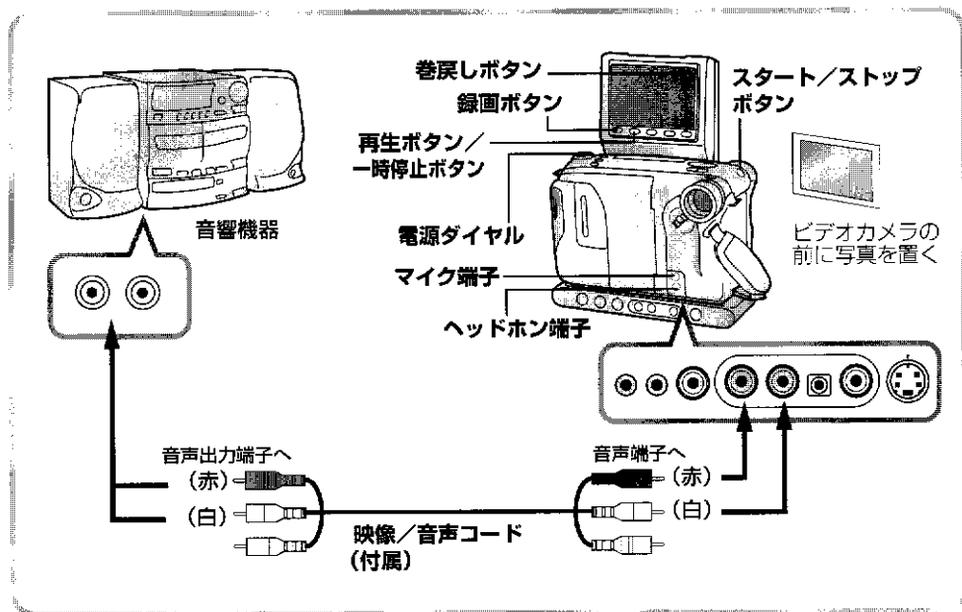
テープに記録される音声と映像について



ビデオテープ断面図

音声や映像は左図のように記録されます。フォトミュージックビデオを作るには、まず(A)に音楽を記録し、次に映像とナレーションを(B)に記録します。(このビデオカメラ、またはHiFiビデオデッキで再生する場合は、ミックス音声を選びナレーションを聞くことができます。)

フォトミュージックビデオを作る(つづき)



音楽をテープに録音する

- 1** ビデオカメラの電源ダイヤルを 'ビデオ' にする
 - 電源はACパワーアダプター (別売) をおすすめします。バッテリーをお使いになると、容量不足で電源が切れることがあります。
- 2** 音響機器 (コンパクトコンボなど) でCDやカセットテープなどを再生する
 - ビデオカメラのヘッドホン端子につないだヘッドホンから音楽が聞こえます。
- 3** 録音したい音楽のところではビデオカメラの録画ボタンを押す
 - VHS-Cテープに音楽が録音されます。
 - 録音を一時中断するとき、およびまた録音を始めるときには、再生/一時停止ボタンを押します。
- 4** 音楽を録音し終えたら、ビデオカメラと音響機器を停止させる
- 5** ビデオカメラの巻戻しボタンを押す
 - VHS-Cテープの始めまで巻き戻すと自動的に停止します。

映像をテープに録画する

- 6** ジャンクションボックスの出力/入力切替スイッチを‘出力’にする

解除 フォトミュージックビデオを作り終えたら、ビデオカメラの電源ダイヤルを‘電源切’にする

- 7** ビデオカメラの再生ボタンを押し、音楽が始まってから一時停止ボタンを押す

- 8** ビデオカメラの液晶画面を起こし、電源ダイヤルを‘フォト’にして写真をビデオカメラの前に置く

- **ⓞII** マークが出て、写真が液晶画面に映ります。ビデオカメラ本体や、ズームレバーを動かして映り具合を調節してください。

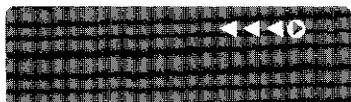


液晶画面

- 音声は自動的にノーマル音声に切り替わります。

- 9** スタート/ストップボタンを押す

- 撮影を始めます。
- テープカウンターが画面上に表示されますので写真ごとの録画時間の目安としてお使いください。
- 撮影を中断するときは、スタート/ストップボタンを押してください。撮影一時停止になります。
- ヘッドホンで音楽を確認しながら撮影/撮影一時停止を繰り返し、音楽を入れたVHS-Cテープに写真を映像として記録していきます。



液晶画面



ご注意ください

音楽が始まる前から映像を記録すると誤動作の原因になります。必ず音楽が始まってから撮影を始めてください。



電源ダイヤルが‘フォト’のときはファインダー内に映像は映りません。液晶画面を起こしてご覧ください。

ナレーションを入れるには

このビデオカメラ、またはHiFiビデオデッキで再生する場合は、写真を撮影するとき、ナレーションをHiFi音声に録音することができます。内蔵マイクまたは、マイク端子に別売のマイクをつないでお使いください。

撮影一時停止を5分以上続けると

節電のため自動的に電源が切れます。撮影を続けたいときは電源ダイヤルを‘電源切’にしてから‘フォト’にしてください。

‘このとき、異音が聞こえることがありますが、故障ではありません。’

映像を演出する

撮影の始めや終わりに‘場面切替’**ⓞ**で変化をつけたり、‘演出/効果’**ⓞ**のシネマで映画のように撮るなどの演出ができます。

カウンターメモリー **ⓞ** をしておく

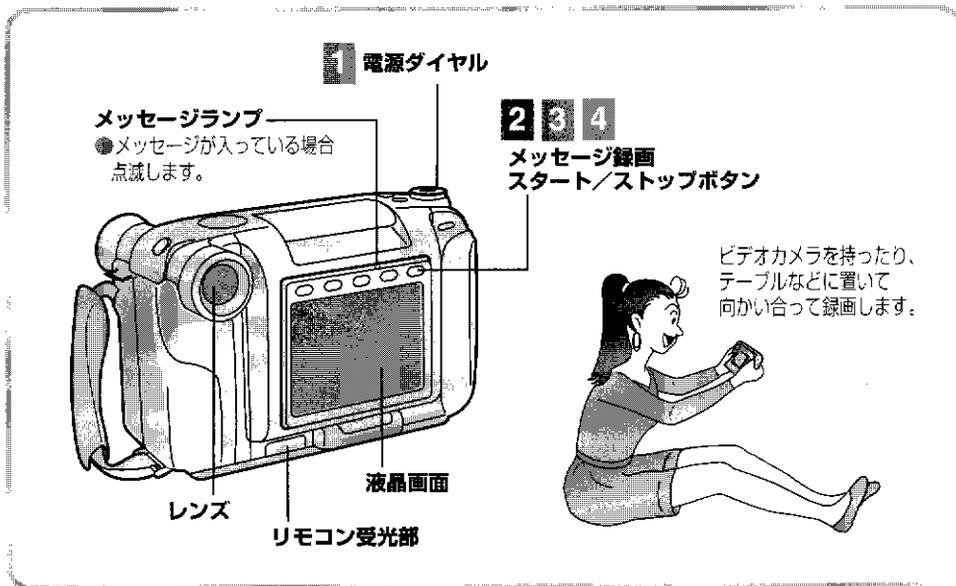
カウンターがMO:00:00のところで録画が止まります。

フォトミュージックビデオを見る

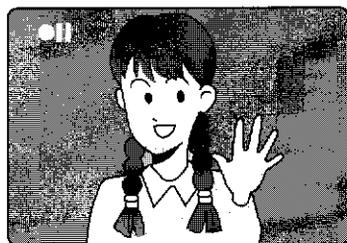
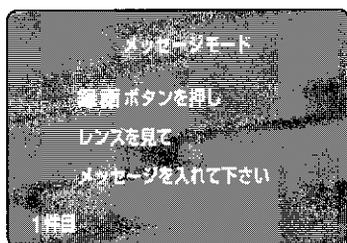
このビデオカメラ、またはHiFiビデオデッキで再生する場合は、音声をノーマルまたはミックスにしてください。ミックスを選ぶと、ナレーションも聞くことができます。

メッセージモードを使う

メッセージを録画し、ビデオカメラを伝言板がわりに使います。家族への伝言、ビデオレター作りなど、コミュニケーションに役立つ機能です。



メッセージを録画する



液晶画面

1 電源を準備し、テープを入れて電源ダイヤルを‘メッセージ’にする

- メッセージモード画面になります。数秒後に映像が液晶画面に映り、撮影一時停止の表示がでます。



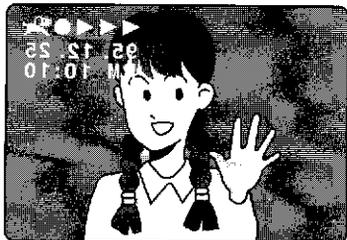
メッセージモード画面が出ない

日時記録がオンスクリーンになっていると、メッセージモード画面が出ません。電源スイッチを‘カメラ’にし、メニューで‘日時きろく’を‘オンスクリーン’以外にしたら、**24** **25** 電源ダイヤルを‘メッセージ’にしてください。

電源はACパワーアダプターをおすすめします。バッテリーを使用する場合、充電容量が切れるとメッセージの再生ができなくなります。長時間の使用のときはACパワーアダプター（別売）をお使いください。

2 メッセージ録画スタート／ストップボタンを押し、メッセージを話す

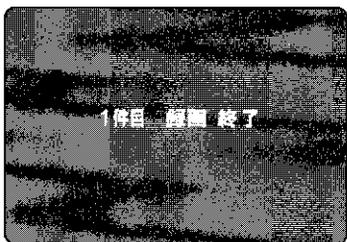
- 液晶画面に録画中の表示がでます。
- レンズを見ながら話すと、より自然な映像になります。
- 設定されている日時が記録されます。



液晶画面

3 メッセージを話し終わったら、もう一度メッセージ録画スタート／ストップボタンを押し

- 液晶画面に1件目録画終了の表示が出ます。



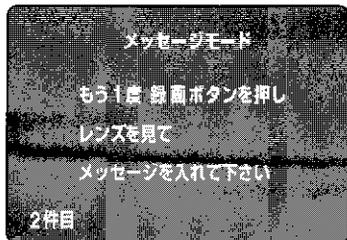
液晶画面

- 自動的に電源が切れて液晶画面が消え、メッセージランプが点滅します。そのままの状態でおきましょう。

2件目以降を録画する場合

4 メッセージ録画スタート／ストップボタンを押し

- メッセージモード画面になります。記録してあるメッセージの件数が表示されます。



液晶画面

- 数秒後に映像が画面に映り、撮影一時停止の表示がでます。2 から 3 の操作を繰り返して、メッセージを録画してください。
- 最大30件、またはテープが終わるまで記録することができます。



電源ダイヤルがメッセージのときは

SP/EP切換スイッチの位置に関係なく、映像はSP（高画質モード 13）で記録されます。

メッセージ録画は余裕をもって

メッセージ再生を何度も繰り返したり、メッセージ件数が多いとき、メッセージの最後が再生できなくなることがあります。メッセージは、話し終わったあとに数秒間、余裕をもって録画してください。

リモコンでメッセージ録画をする

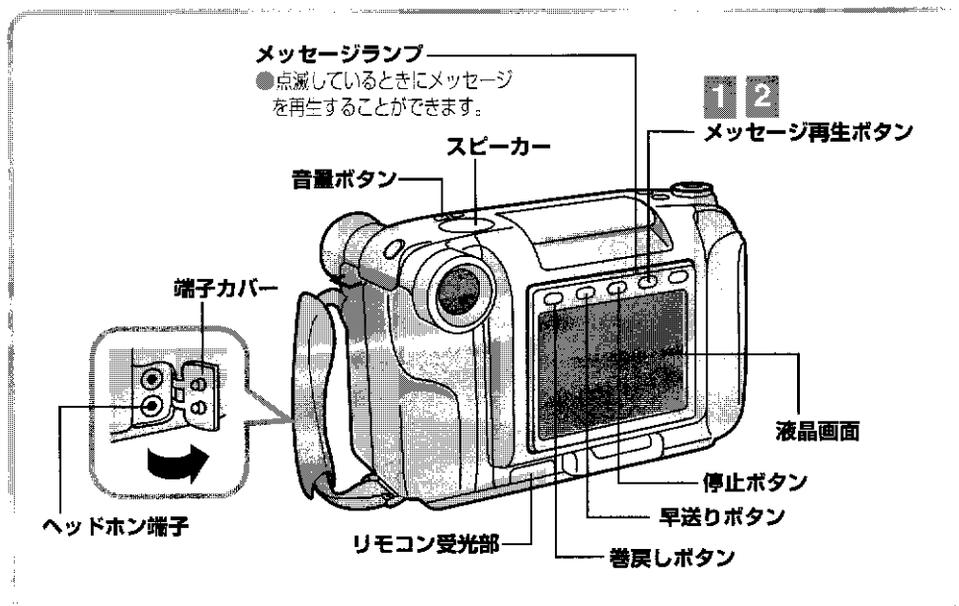
付属のリモコンを使って、メッセージを録画することもできます。ビデオカメラにリモコンを向けてスタート／ストップボタンを操作してください。



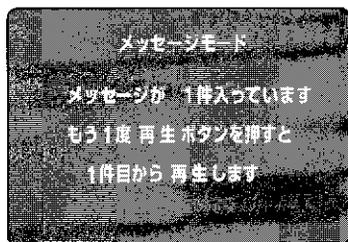
映像を演出する

メッセージの始めや終わりに場面切替 36 で変化をつけたり、演出／効果 37 のシネマを使って演出することができます。

メッセージモードを使う(つづき)



メッセージを再生する

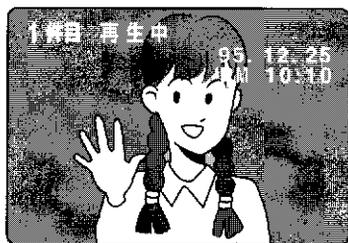


液晶画面

- 1** メッセージ再生ボタンを押す
 - メッセージモード画面になります。
 - その後10秒間操作をしないか、または停止ボタンを押せば、電源は切れメッセージ再生ボタンを押す前の状態に戻ります。

2 もう一度メッセージ再生ボタンを押す

- 液晶画面に1件目頭出し中の表示が出て、頭出し終了後、メッセージの再生を始めます。



液晶画面

- 液晶画面に再生中の件数を表示します。
- 再生途中で停止ボタンを押すと、最後のメッセージの終わりの位置までテープを送り、自動的に電源を切ります。
- すべてのメッセージの再生が終わると、電源は自動的に切れ、液晶画面が消えてメッセージランプが点滅します。

解除 メッセージモードを解除したいときは、電源ダイヤルを「電源切」にしてください。



見たいメッセージを選ぶ

メッセージの頭出し中、再生中に、早送り／巻戻しボタンで件数の数字を変え、見たいメッセージの選択ができます。

メッセージを見逃してしまったら

メッセージ再生中に、早送り／巻戻しボタンを押して件数の数字を送れば、もう一度繰り返して再生することができます。また、メッセージ再生終了後、もう一度 **1** から **2** の操作をすれば、繰り返し見ることができます。

音声について

スピーカーまたは市販のヘッドホンをヘッドホン端子に接続して聞くことができます。音量は、音量ボタンで調節します。

メッセージ再生ができなくなる

次のようなとき、メッセージ再生ができなくなります。

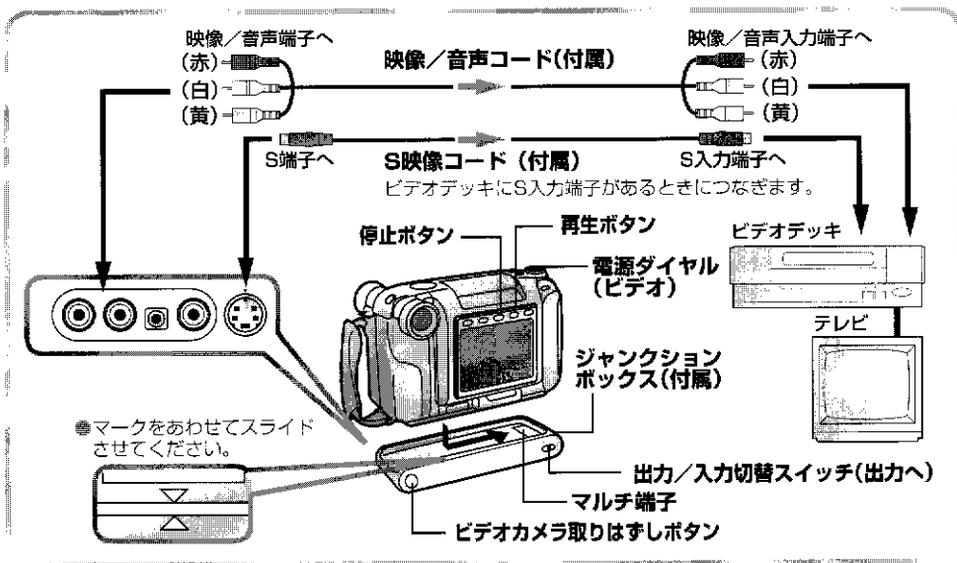
- メッセージランプが消えているとき
 - 電源ダイヤルを「メッセージ」から動かしたとき
 - 電源を取り外したとき
- など、その他メッセージ再生ができない場合は通常の再生 **3** をしてご覧ください。

リモコンでメッセージ再生をする

付属のリモコンを使って、メッセージを再生することもできます。ビデオカメラにリモコンを向けて再生ボタンを押してください。

ビデオデッキやテレビと接続する

付属のジャンクションボックス、映像／音声コードを使って、ビデオカメラからの映像をビデオデッキやAVテレビ（映像／音声入力端子があるテレビ）を通して見ることができます。ご家庭のビデオデッキやテレビの取扱説明書もご覧ください。



ビデオデッキ／テレビにつなぐ

1 ビデオカメラをジャンクションボックスに取り付ける

- ビデオカメラとジャンクションボックスのマークを合わせて置き、矢印方向に突き当たるまでスライドさせます。
- 取り外すときは、ビデオカメラ取りはずしボタンを押しながらビデオカメラを矢印方向と反対にスライドさせます。

2 ジャンクションボックスの端子とビデオデッキ(またはテレビ)の入力端子を、映像／音声コード(付属)でつなぐ

3 ジャンクションボックスの出力／入力切替スイッチを'出力'にする

4 ビデオカメラに電源を取り付ける

- 電源はACパワーアダプター(別売)をおすすめします。バッテリーをお使いになると、容量不足で電源が切れることがあります。



ジャンクションボックスのマルチ端子は手でふれたり、かたい物を当てたり、絶対にしないでください。ピンがこわれて接触が悪くなり、使えなくなります。



S映像コードをつなぐ

ビデオデッキ(またはテレビ)にS入力端子があるときは、S映像コードをつなぐとダビング時の劣化をおさえることができます。

デッキにつないで見る

5 ビデオデッキとテレビの電源を入れ、テレビはいつもビデオを見ているチャンネルにする

6 ビデオデッキの入力を外部入力モードにする

7 ビデオカメラの電源ダイヤルを‘ビデオ’にし、再生ボタンを押す

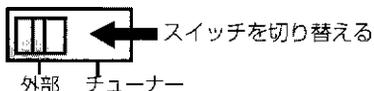
●再生をやめたいときは、停止ボタンを押します。



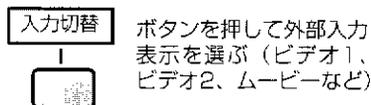
ビデオデッキを外部入力にするには

ビデオデッキによって異なりますので、お使いになるビデオデッキの取扱説明書と下の例を見ながらおこなってください。(ビデオカメラからの映像と音声が出るようにしてください。)

例1 スライドスイッチで切り替えるタイプ



例2 入力切り替えボタンのタイプ



例3 チャンネルボタンで切り替えるタイプ



テレビにつないで見る

5 テレビの電源を入れ、入力をビデオカメラにつないだ端子に切り替える
(例 ビデオ2、ビデオ3、ムービーなど)

6 ビデオカメラの電源ダイヤルを‘ビデオ’にし、再生ボタンを押す

●再生をやめたいときは、停止ボタンを押します。



ビデオカメラを通した映像をビデオデッキで録画する

ビデオカメラを通した映像をテレビに映し、ビデオデッキで記録することができます。

1. ビデオカメラの電源を準備し、ビデオデッキとつなぎます。■56
2. ビデオデッキ、テレビの電源を入れ、テレビはいつもビデオを見ているチャンネルにします。
3. ビデオデッキの入力を、外部入力モードにします。(左説明参照)
4. ビデオカメラにテープを入れずに電源ダイヤルを‘カメラ’にします。
 - 日時表示はオンスクリーン以外を選んでください。オンスクリーンを選ぶと、ビデオカメラの画面上の表示まで記録されます。
5. ビデオデッキに記録するテープを入れ、録画操作をします。
 - テレビに、ビデオカメラからの映像と音声が出ます。

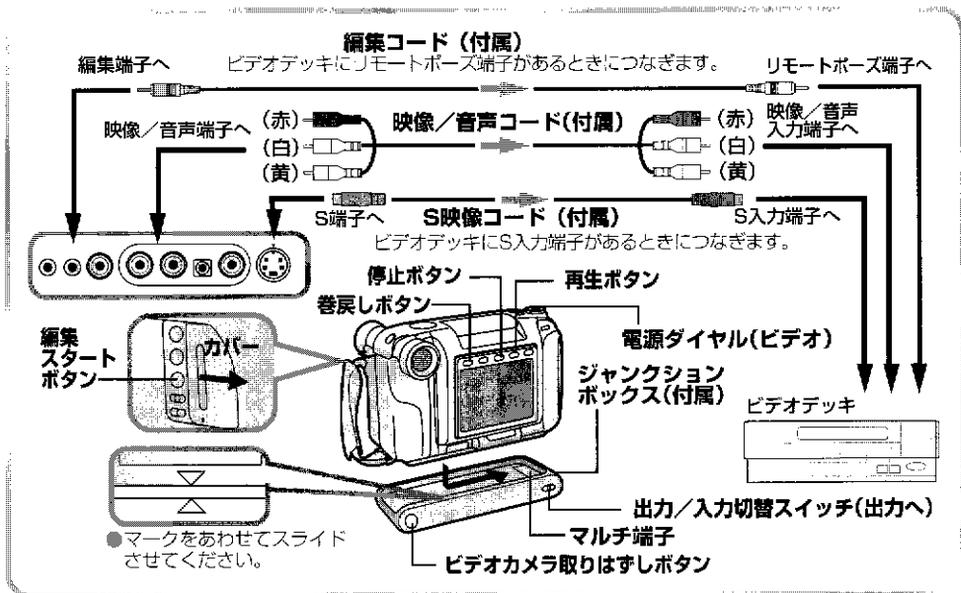
その他

テレビにノイズが出るとき

テレビが「ピー」「ウワ〜ン」という音がでる場合は、ビデオカメラをテレビから離すか、テレビの音量をさげてください。

編集する(ダビング)

ビデオデッキとつないで、ダビングをすることができます。ご家庭のテレビやビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。



ビデオカメラからビデオデッキへダビングする

ビクターのリモートボース端子付きのビデオデッキを使って、撮影したテープを見ながら簡単にもう一本同じテープを作れます。ビクター以外のビデオデッキや、リモートボース端子のないビクターのビデオデッキを使ってダビングすることもできます。

1 ビデオカメラとビデオデッキをつなぐ 56

- お使いのビデオデッキがビクターのリモートボース端子付きの場合は、ジャンクションボックスの編集端子と、ビデオデッキのリモートボース端子を編集コード(付属)でつないでください。

2 ビデオカメラの電源スイッチを‘ビデオ’にし、ビデオデッキの電源を入れる

- ビデオデッキの入力切替を外部入力にしてください。
- 撮影したテープをビデオカメラに、録画するテープをビデオデッキに入れておいてください。



S映像コードをつなぐ

ビデオデッキ(またはテレビ)にS入力端子があるときは、S映像コードをつなぐとダビング時の劣化をおさえることができます。

ビクターのビデオデッキの場合

3 ビデオカメラの再生ボタンを押してテープを再生し、編集を終わらせたい場面で一時停止ボタンを押す

4 カウンターメモリーをする
●カウンター値がM0:00:00になり、編集を終わらせる位置が決まります。

5 ビデオカメラの巻戻しボタンを押して、撮影したテープを編集を始めるところまで巻戻し、一時停止ボタンを押す
●一時停止の状態にします。

6 ビデオデッキを録画一時停止にして、ビデオカメラの編集スタートボタンを押す

- ビデオカメラと録画側ビデオデッキが自動的にスタートし、ダビングが始まります。
- テープカウンターが M0:00:00 の位置になると、ビデオカメラは一時停止、ビデオデッキは録画一時停止になります。
- 編集を中断したいときはビデオカメラの一時停止ボタンを押します。もう一度編集を始めたいときは、ビデオカメラの編集スタートボタンを押します。
- 終了するときには、ビデオカメラの停止ボタンを押してください。

編集点がずれる

カウンター表示は大まかな目安なので、編集点がずれることがあります。故障ではありません。

ビクター以外のビデオデッキの場合

編集ケーブルを使わずにダビングします。リモートボーズ端子のないビクターのビデオデッキも、以下の手順で編集します。

3 ビデオデッキを録画一時停止にする

4 ビデオカメラの再生ボタンを押す
●ビデオカメラの再生が始まります。

5 ダビングしたいところでビデオデッキの録画をスタートさせる
●ダビング中、カットしたいところはビデオデッキを録画一時停止にしてください。
●編集を終えるには停止ボタンを押してください。



記念写真部分だけをダビングする(記念写真サーチ)

リモートボーズ端子付ビクタービデオデッキを使うと、記念写真部分だけ編集できます。1と2の操作をしたあと3~5のかわりに以下の操作をします。

1. テープをダビングしたい記念写真部分より前まで巻き戻します。
2. ビデオデッキを録画一時停止にし、ビデオカメラの記念写真ボタンを押します。

- 記念写真部分だけ、ビデオデッキが録画をします。
- 終了するときには、ビデオデッキとビデオカメラを停止させます。

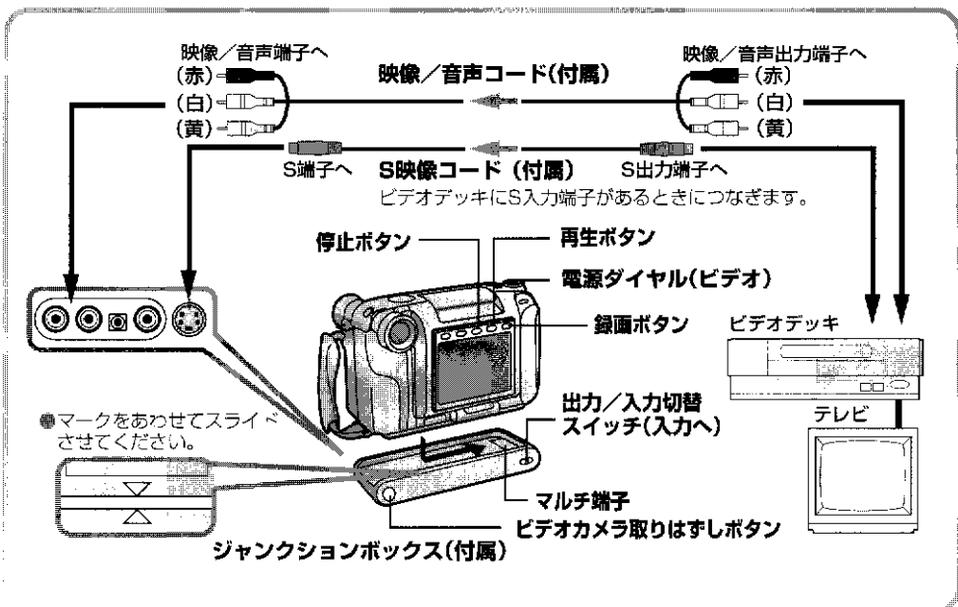
■連写している部分は、最初の約3秒間のみ録画されます。

■記念写真と記念写真の間の早送り時間が、約5分をこえると、ビデオデッキは停止状態になります。1.と2.を繰り返してください。

■無記録部分、SP/EPを切りかえた部分やオートデータの日時の記録中、写した記念写真では、面が乱れたり誤動作することがあります。

ビデオカメラをビデオデッキとして使う

ビデオデッキからの映像／音声をビデオカメラで見たり、ダビングをすることができます。ご家庭のテレビやビデオデッキの取扱説明書もお読みください。



ビデオデッキ/テレビにつなぐ

1 ビデオカメラをジャンクションボックスに取り付ける

- ビデオカメラをジャンクションボックスのミゾに合わせて置き、矢印方向に突き当たるまでスライドさせます。
- 取り外すときは、ビデオカメラ取りはずしボタンを押しながらビデオカメラを持ち上げます。

2 ジャンクションボックスの端子とビデオデッキ(またはテレビ)の出力端子を、映像/音声コード(付属)でつなぐ

3 ジャンクションボックスの出力/入力切替スイッチを'入力'にする

4 ビデオカメラに電源を取り付ける

- 電源はACパワーアダプター(別売)をおすすめします。バッテリーをお使いになると、容量不足で電源が切れることがあります。



S映像コードをつなぐ

ビデオデッキ(またはテレビ)にS出力端子があるときは、S映像コードをつなぐとダビング時の劣化をおさえることができます。

ビデオデッキからビデオカメラへダビングする

1 ビデオカメラとビデオデッキをつなぐ  

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを「ビデオ」にし、テープを入れる

- S-VHSテープでVHS録画したいときは、撮影ポジションをスタンダードにし、メニューで「S-VHS」を選び、「切」にしてください。  

3 SP/EP切替スイッチでテープの録画モードを選ぶ

- SPは標準の録画モードです。EPは撮影時間がSPの3倍になります。

4 テープ選択スイッチをテープの長さに合わせる

20分テープ → 20
30分テープ → 30
40分テープ → 40

- 撮影中、液晶画面またはファインダー内に、使用するテープの残量表示が自動的に表示されます。

5 ビデオデッキにダビングしたいテープを入れて再生する

6 ダビングしたいところで、ビデオカメラの録画ボタンを押す

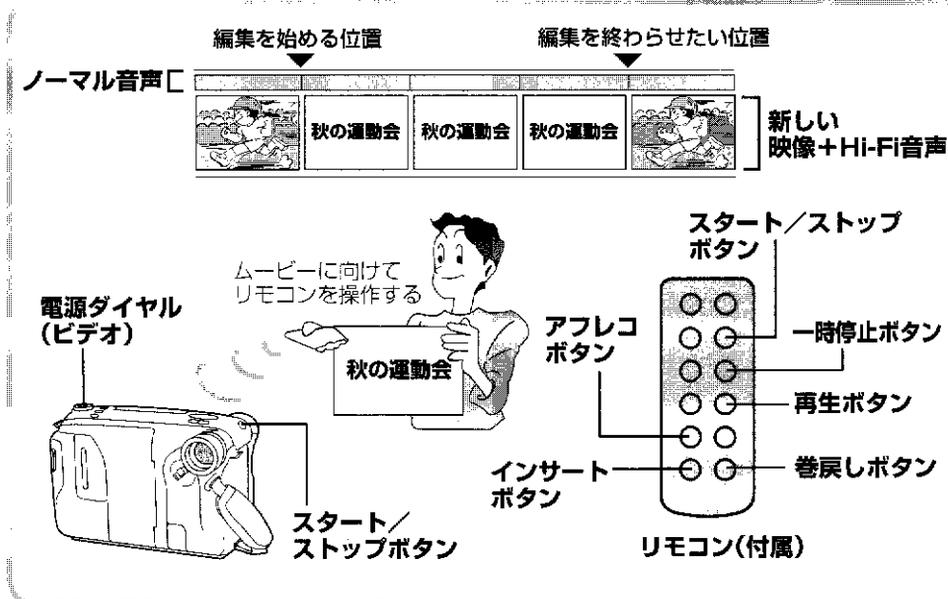
- ビデオカメラの録画が始まります。
- 録画を中断したいときはビデオカメラの再生/一時停止ボタンを押します。再び録画を始めたいときは、もう一度再生/一時停止ボタンを押します。
- 終了するときには、ビデオカメラの停止ボタンを押してください。



ビデオデッキなどからの映像を見る

ビデオデッキで再生する映像を液晶画面で見たい場合は、**1**と**2**のあとに**3**の操作をしてください。ビデオカメラの液晶画面に映像が出ます。(b2でテープを入れる必要はありません。)

あとから音や映像を入れる



アフレコ編集/インサート編集

録画済みテープのノーマル音声のみを入れ替えたり(アフレコ編集)、タイトルなどの映像とナレーションを入れたり(インサート編集)することができます。

- 1 ビデオカメラの電源を準備し、電源ダイヤルを「ビデオ」にする
- 2 テープを再生し、編集を終わらせたいところで一時停止ボタンを押す
- 3 カウンターメモリーをする 33
●カウンター値がMO:00:00になり、編集を終わらせる位置が決まります。
- 4 編集を始める位置までテープを巻き戻して一時停止ボタンを押す



アフレコ編集/インサート編集の録画モードはSP/EPの設定に関係なく、編集するテープと同じ録画モードになります。

編集がきれいにできない

編集するテープの始めや途中で、無記録部分があるときや録画モード(SP/EP)が変わっていると、誤動作の原因になります。

アフレコ編集やインサート編集ができない

- テープの消去防止用ツメが折られていないか確かめてください。 33
- 一時停止の状態は約5分間で電源が切れます。再度電源を入れてセットしてください。

アフレコする場合

ナレーションや音楽などを、ノーマル音声に入れ替えることができます。

5 リモコンのアフレコボタンと一時停止ボタンを同時に押す

- 液晶画面にアフレコの表示が出ます。



6 再生ボタンを押し、マイクに向かってナレーションなどを録音する

- 編集を一時やめたいときは一時停止ボタンを押し、再び始めるときはもう一度再生ボタンを押します。
- MO:00:00 の位置にくると自動的に編集が終わり、再生状態になります。



アフレコ編集/インサート編集の映像と音声について

- インサート/アフレコで新しく記録される映像/音声は、ビデオカメラで写している映像、内蔵マイクまたはマイク端子に接続した市販のマイクからの音声になります。
- ビデオデッキなど他の機器からの映像/音声をインサートまたはアフレコしたいときは「ビデオカメラをビデオデッキとして使う」⁶⁰の様に接続しておこなってください。
- 再生時の音声はあらかじめメニューで「オーディオ」を選び設定してください。^{36 47}

HiFi → アフレコ編集前の音声、またはインサート編集した音声が入ります。
ミックス→アフレコ編集前と編集後の音声、またはインサート編集前と編集後の音声が入ります。
ノーマル→アフレコ編集後の音声、またはインサート編集する前の音声が入ります。

インサートする場合

タイトルなどの映像を入れ替えることができます。映像とHiFi音声が新しいものになります。

5 リモコンのインサートボタンと一時停止ボタンを同時に押す

- 液晶画面にインサートの表示が出ます。



6 スタート/ストップボタンを押し、インサートしたい映像や音声を記録する

- 編集を一時やめたいときはスタート/ストップボタンを押します。再び始めるときはもう一度スタート/ストップボタンを押します。
- MO:00:00 の位置にくると自動的に編集が終わり、再生状態になります。
- ビデオデッキなど、他の機器からインサートするときはスタート/ストップボタンのかわりに、再生/一時停止ボタンを使います。



アフレコ編集/インサート編集のときは

- ファインダー内に映像は出ません。液晶画面をご覧ください。
- カウンター表示は大まかな目安ですので編集点がずれることがあります。故障ではありません。

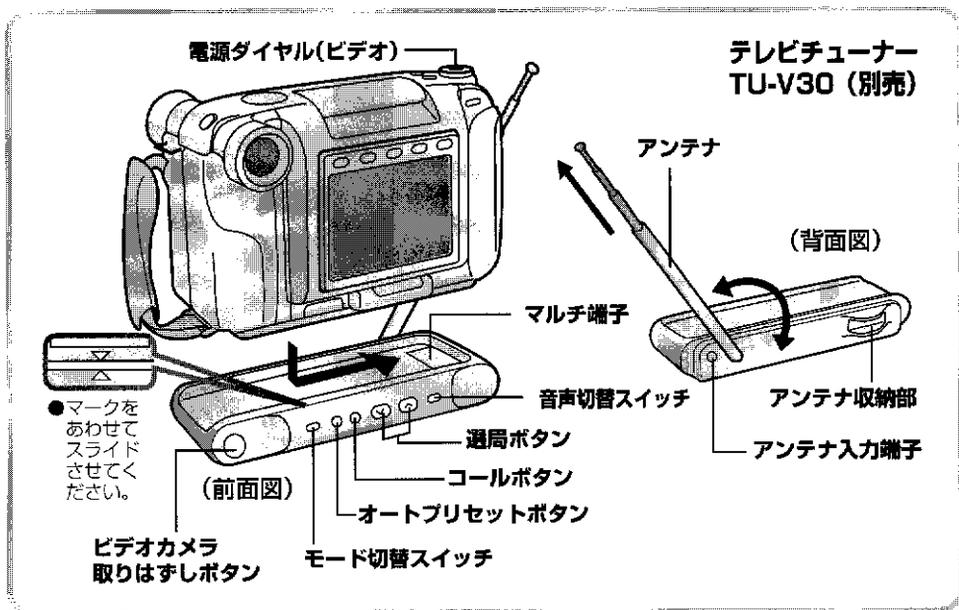
映像と音声をすべて新しく入れ替えたいときは

インサート編集で、5のあとに続けてアフレコボタンと一時停止ボタンを同時に押します。アフレコ編集も設定され、すべての音声（HiFi音声とノーマル音声）を入れ替えることができます。インサート編集のみに戻したいときは、インサートボタンと一時停止ボタンを同時に押し、スタート/ストップの操作を始めてください。



テレビチューナーTU-V30を使って

テレビチューナーTU-V30（別売）を使って、テレビ放送を見たり、録画したりすることができます。音声はスピーカーまたは市販のヘッドホンヘッドホン端子に接続して、聞くことができます。



テレビチューナーを取り付ける

1 ビデオカメラの電源を準備し、テレビチューナーに取り付ける

- ビデオカメラとテレビチューナーのマークを合わせて置き、矢印方向に突き当たるまでスライドさせます。
- 取り外すときは、ビデオカメラ取りはずしボタンを押しながらビデオカメラを取り付けとは逆にスライドさせます。
- 長時間使用する場合、電源はACパワーアダプター（別売）をおすすめします。

2 テレビチューナーのアンテナを引き出す



- このテレビチューナーは、GR-MV1専用です。
- テレビチューナーをご使用にならないときは、はずしておいてください。
- 取り付けしたテレビチューナーの部分を持って、ビデオカメラの持ち運びをしないでください。
- アンテナはていねいに扱ってください。収納するときは、太い方から順番におこなってください。
- 人ごみでの、アンテナの使用は危険です。
- 外部アンテナを使いたいときは、アンテナコードVX-25A（別売）や市販のアンテナ変換器などを、アンテナ入力端子に接続してください。このときテレビチューナーについているアンテナは効かなくなります。
- 専用のダイバーシティアンテナは使えません。

チャンネルを設定する (オートプリセット)

いつもテレビを見ている場所のチャンネルを、記憶させておきます。(最大12局)一度記憶させておけば、以後はボタンひとつでテレビ放送を見ることができます。

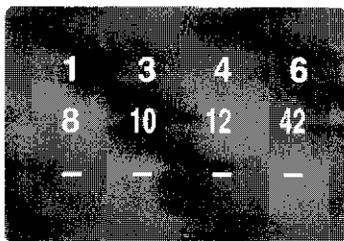
1 テレビチューナーにビデオカメラを取り付ける

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを 'ビデオ' にする

3 テレビチューナーのモード切替スイッチを 'ノーマル' にする

4 テレビチューナーのオートプリセットボタンを約1秒以上押す

- 液晶画面にサーチ中の表示が出て、自動的に受信できるチャンネルを探して記憶します。
- 記憶が終わるとチャンネル番号の一番小さい番組が映り、記憶したチャンネルの一覧表が約20秒間表示されます。(すぐに表示を消したいときは、コールボタンを押してください。)
- 記憶されたチャンネルが12局に達しないときは 'ー' が表示されます。



1	3	4	6
8	10	12	42
—	—	—	—

チャンネル番号一覧 (一例)

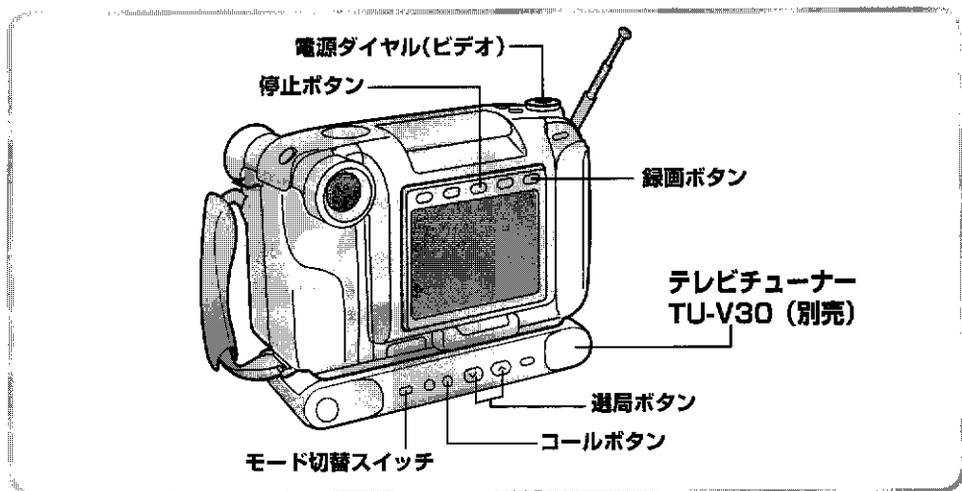


チャンネル番号一覧を見たいときには
コールボタンを押し続けるとチャンネル番号一覧が出て、約20秒間表示されます。すぐに表示を消したいときは、もう一度コールボタンを押してください。

チャンネルの受信について

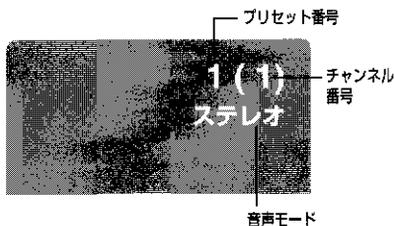
- 放送局以外の電波でも、チャンネルとして記憶されることがあります。このとき画面がノイズ状態で現われますが、故障ではありません。
- 選局はVHF1~12、UHF13~62の間ででき、チャンネル番号は受信した放送局のチャンネルがそのまま表示されます。
- オートプリセットボタンを押しても、まったくチャンネルを受信できない場合は、前回の記憶内容が表示されます。

テレビチューナーTU-V30を使って(つづき)



テレビ放送を見る

- 1 テレビチューナーにビデオカメラを取り付ける
- 2 ビデオカメラの電源ダイヤルを‘ビデオ’にする
- 3 テレビチューナーのモード切替スイッチを‘ノーマル’にする
- 4 選局ボタン(▽)か(△)を押して見たいチャンネルに合わせる
●約2秒間、画面の右上にプリセット番号とチャンネル番号、選んでいる音声モードを表示します。



音声を切り替える

音声切替スイッチで、聞きたい音声を選びます。受信する音声によって表示は以下のようになります。()内は聞こえる音声です。

	スイッチの位置		
	ステレオ・主	ステレオ・副	モノラル
ステレオ放送時の表示	ステレオ (ステレオ)	ステレオ (ステレオ)	表示なし (L+Rでモノラル)
バイリンガル放送時の表示	メイン (主音声)	サブ (副音声)	表示なし (主音声)
モノラル放送時の表示	表示なし (モノラル)	表示なし (モノラル)	表示なし (モノラル)

尚、放送の音声が変わるたびに、表示は約2秒間液晶画面上に表示します。

テレビ放送が映らない

チャンネル番号が記憶されていないと、放送は映りません。まず、チャンネルの設定を(オートプリセット)してください。

見ているチャンネルの番号を確かめるには切替スイッチをノーマルにし、コールボタンをポンと押すと、液晶画面に映っているチャンネルの番号が表示されます。表示を消すときはもう一度コールボタンを押してください。

旅行先でテレビ放送を見る(サーチ)

記憶してあるチャンネルに関係なく、旅行先などのテレビ放送を見ることができます。また、オートプリセット  では受信できない電波の弱い放送も見ることができます。

1 テレビチューナーにビデオカメラを取り付ける 

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを 'ビデオ' にする

3 テレビチューナーのモード切替スイッチを 'サーチ' にする

4 選局ボタン  か  を約1秒以上押す

●液晶画面にサーチ中の表示が出て、自動的に受信できるチャンネルの映像とチャンネル番号、選んでいる音声モードが約2秒間表示されます。



●放送のあるチャンネルを探すことができなかつたときは、サーチを始める前の状態に戻ります。

5 繰り返し選局ボタン  か  を押し、見たいチャンネルを選ぶ



車などの運転中は、テレビを見ないでください。非常に危険です。



テレビ放送を録画する

- ビデオカメラにテープを入れ、録画したいチャンネルを選び、録画ボタンを押します。
- 録画をやめたいときは停止ボタンを押します。

テレビ録画について

電波の状況により、うまく録画できないこともあります。

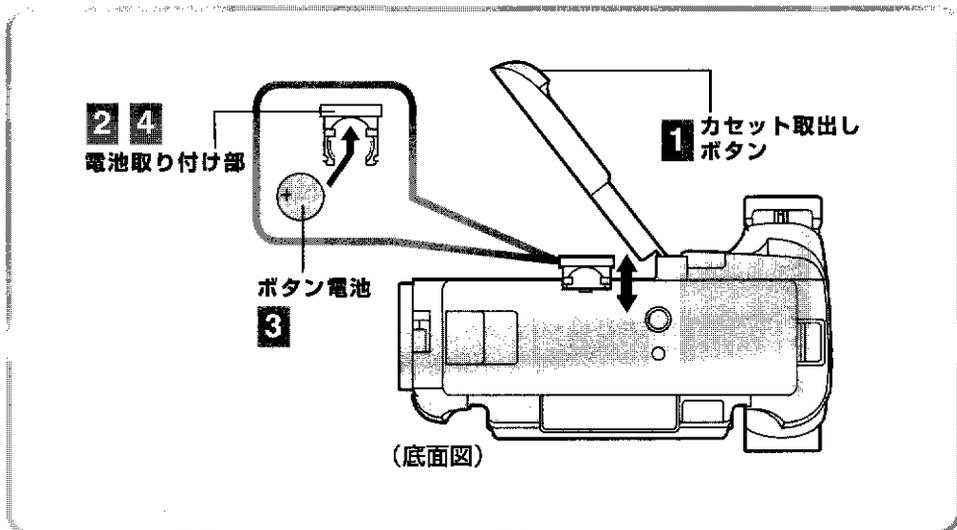
サーチ中のチャンネル選局について

テレビチューナーのモード切替スイッチを 'サーチ' にし、選局ボタンを約1秒以上押さずにポンと押すと、押すごとにチャンネルが1つずつ変わります。(受信できないチャンネルは画面がノイズ状態で表示されます。)

その他

ボタン電池(時計用)を入れ替える

日時の記憶を保つために必要です。お買い上げ時はすでに取り付けられています。ビデオカメラの電源を入れたとき、液晶画面またはファインダー内に  表示や「ボタン電池を入れて下さい」という文字が出たら交換してください。



1 カセット取出しボタンを押す
●ドアが開きます。

2 電池取り付け部を矢印方向へ引き出す

3 ボタン電池を+側が見えるようにして入れる

4 電池取り付け部を差し込む
●交換後は日時を合わせ直すことをおすめします。🔋

ご注意ください

電池は幼児の手の届かない所においてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。



電池を交換する時期は

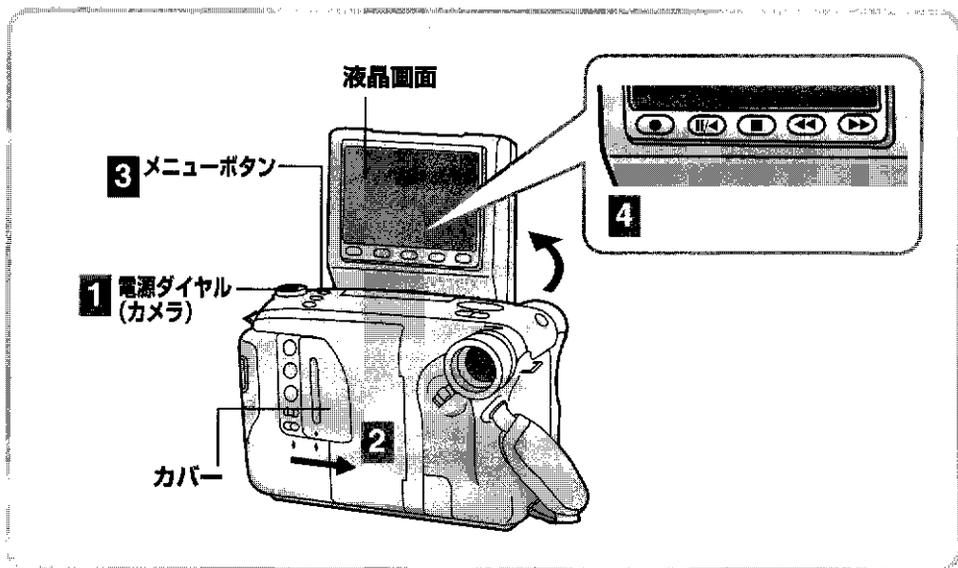
- ボタン電池の寿命は約1年です。お買い上げ時に取り付けられているのはサービス電池ですので、1年もたないことがあります。
- 電池の容量が無くなると、ビデオカメラの電源を入れたとき、液晶画面またはファインダー内に  表示や「ボタン電池を入れて下さい」という文字が出ます。

電池を交換するときは

- バッテリーを付けたままで交換すると、設定してある日時を消さなくて済みます。
- ボタン電池 (CR2025) を最寄りの電気店またはカメラ店などでお求めください。
- 「正しくお使いいただくために」🔋の注意文もよくお読みください。

日時を合わせる

ボタン電池(時計用)を交換したときなどは、日時を合わせ直してください。

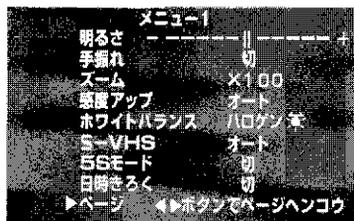


1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする

2 カバーのマークを 'スタンダード' に合わせる

3 メニューボタンを押し、**II<** ボタンを押す

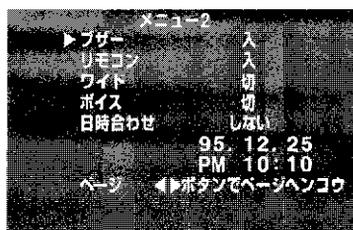
●液晶画面にメニューがでて、▶ が 'ページ' に移動します。



液晶画面

4 **◀▶** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押す

●メニュー2の画面になります。

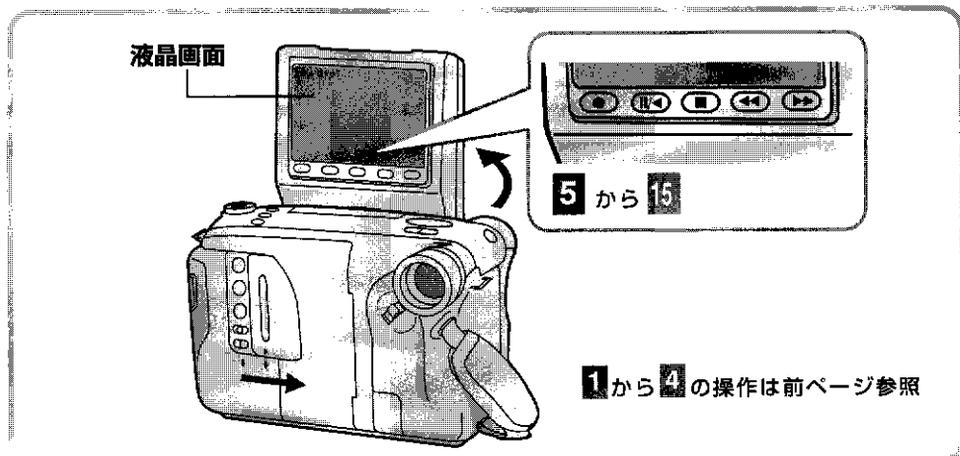


液晶画面

次ページへつづく

その他

日時を合わせる(つづき)



5 **II** (送) ボタンまたは **■** ボタンを押して '日時合わせ' を選ぶ
 ● ボタンを押すごとに ▶ が移動します。

6 **◀◀** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押して 'する' にする
 ● 液晶画面またはファインダー内に '+' '-' '送り' の表示が出て、始めに年の表示が点滅します。



(例) 液晶画面を起こした場合

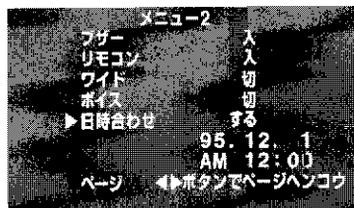
7 **II** (+) ボタンまたは **■** (-) ボタンを押して年の表示を合わせる
 ● ボタンを押すごとに数字が変わります。
 ● 年は西暦の下2ケタを入力します。
 (例) 1995 → 95)

8 **◀◀** (送り) ボタンを押して決定する
 ● 年の表示の点滅が止まり、月の表示が点滅します。



9 **II** (+) ボタンまたは **■** (-) ボタンを押して年の表示を合わせる

10 **◀◀** (送り) ボタンを押して決定する
 ● 月の表示の点滅が止まり、日の表示が点滅します。



- 11 Ⅱ◀ ボタンまたは ◻ ボタンを押して日の表示を合わせる

- 12 ◀◀ ボタンを押して決定する
- 日の表示の点滅が止まり、時の表示が点滅します。



- 13 Ⅱ◀ ボタンまたは ◻ ボタンを押して時の表示を合わせる

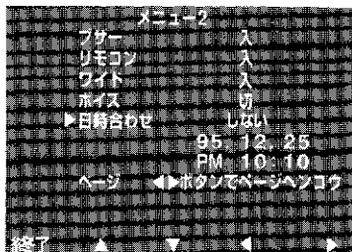
- 時間はAM/PM (AMは午前、PMは午後) で表示されます。
- 正午はPM12:00、夜の12時はAM12:00となります。

- 14 ◀◀ ボタンを押して決定する
- 時の表示の点滅が止まり、分の表示が点滅します。



- 15 Ⅱ◀ ボタンまたは ◻ ボタンを押して分の表示を合わせ、◀◀ ボタンを押す

- 分の表示の点滅が止まり、液晶画面またはファインダー内から '+' 'ー' '送り' の表示が消えます。
- 日時合わせは完了し、ビデオカメラの中の時計が動きだします。



(例) 液晶画面を起こした場合

- 終了 日時合わせが完了したら、◻ (終了) ボタンを押してください。



設定したのに記録されていない

ボタン電池の容量がなくなると、設定してある日時は消えてしまいます。ボタン電池の容量がなくなっていないか確認してください。液晶画面またはファインダー内に  表示や 'ボタン電池を入れて下さい' の文字が出たら、交換の時期です。

撮影のとき日時も記録するには

 ~  の '日時を入れて撮る' をご覧ください。

こんなときは

以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

症 状	処 置	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●バッテリーが充電されているか、確かめてください。 ●電源が正しく接続されているか、確かめてください。 	28
撮影ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメなしテープで撮影していないか、確かめてください。 ●電源スイッチが「ビデオ」になっていないか、確かめてください。 ●電源スイッチを「カメラ」側に合わせてからスタート/ストップボタンを押してください。 	33 34
画像がでない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源をもう一度入れ直してください。 ●ジャンクションボックスの出力/入力切替スイッチを操作してみてください。 	— 35 56 60
液晶画面の映像が暗い、または白くなる	<ul style="list-style-type: none"> ●メニューで「明るさ」を選び、調節してください。また液晶画面の角度を調節してみてください。 ●寒いところでは液晶画面の特性で暗く見えます。実際の色と多少異なりますが故障ではありません。 ●液晶画面に使用している蛍光管の寿命が近づくと暗くなります。こんなときは、お買い上げ販売店またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。 	— 31 44 46
液晶画面の裏側が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> ●液晶画面を明るくするライトの関係で熱くなります。液晶画面を切るか、電源を切ってしばらくすれば冷えます。 	19 21
液晶画面に表示むらが出る	<ul style="list-style-type: none"> ●液晶画面の表面やまわりを押すと、表示むらが発生します。液晶画面の特性上のもので、手を離せば元に戻ります。 	—
液晶画面に小さな光る点や黒い点が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●液晶画面は非常に精度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。 	—
いろいろな機能が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ●カバーのマークを「スタンダード」に合わせてください。 	37
自動でピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> ●フォーカスが「手動」になっていないか確かめてください。 ●暗い所や明暗差のないものを撮影すると合わないことがあります。手動で合わせてください。 ●ファインダーのピントを合わせてあるか確かめてください。 ●レンズが汚れていると、ピントが合わないように見えます。やわらかい布などでよくふき取ってください。 	40 46
撮影中、日時が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●「日時さくく」の設定が「切」になっているとき、対面撮影時やオートデートを選んでいるときなど、日時表示がでない場合もあります。 ●ボタン電池が入っているか、また容量が残っているか確認し、日時を合わせ直してください。 	45 52 54 59
画面上にひし型や三角形の光が写る	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽が正面や斜め上前方にあると写ります。太陽光がレンズに入らないよう、ビデオカメラの向きやズームを少し動かしたり、レンズの上に手をかざしたりしてみてください。 	—

症 状	処 置	参照ページ
被写体に強い光が入ると縦に明るい線が出る	●大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	—
レンズや液晶画面が、指紋などで汚れてしまった	●付属のクリーニングクロスや清潔なやわらかい布で、あまり力を加えずに汚れをふき取ってください。また、かたい布などでこすらないでください。キズがついたり割れたりすることがあります。	77
早送り、巻戻し中に途中でテープが止まる	●カウンターメモリされていないか確かめてください。	39 46、47
再生、巻戻し、早送りができない	●電源スイッチが‘ビデオ’側になっているか確かめてください。 ●テープが早送り、巻戻しを完了していないか、確かめてください。	32
画面にノイズがでる	●トラッキング調節をしてください。 ●ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。クリーニングカセットTCC-2（別売）で清掃してください。	36 77
テープは回っているが再生しない	●表示/液晶画面ボタンを1秒以上押してみてください。‘切’の状態だと映像はできません。 ●映像/音声入力端子付きテレビの場合は、テレビのチャンネルを‘ビデオ’にしてください。（テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル1か2以外になっていませんか。）	21 32
画面がチラつく	●演出/効果のスポーツを、水銀灯などを光源とする場所（体育館やナイターのスポーツ場など）で使用すると、画面がチラつくことがあります。故障ではありません。	—
デジタルズームが働かない	●メニューで‘ズーム’を選び、デジタルズーム（×20 か×100）にしてください。 ●場面切替のオーバーラップフェーダー中は、デジタルズームは使用できません。	44 45 37
オーバーラップフェーダーが働かない	●オーバーラップフェーダーは、撮影ストップしたときの映像を記憶し、次に撮影する映像を徐々に浮かび上がらせます。映像を記憶していないと働けません。 ●撮影後、電源ダイヤルを‘カメラ’から動かしたり、クイックレビューやリテイク、撮影スタンバイなどをを使うと、記憶した映像が消去されてしまいます。	36 27 31 32
テープが取り出せない	●メッセージモードを使って、メッセージを記録しているときは、テープは取り出せません。取り出したいときは、電源ダイヤルを‘メッセージ’以外にしてください。	35 36

その他

次ページへつづく

このビデオカメラはマイコンを使用しています。

雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そのときはビデオカメラから電源（バッテリー、ACパワーアダプターなど）およびボタン電池を一度外してしばらく置き、改めてご使用ください。

こんなときは(つづき)

症 状	処 置	参照ページ
液晶画面やファインダーの表示が点滅する	●同時に使用できない機能を設定した場合、表示が点滅して知らせます。それぞれの機能のページをお確かめください。	28、34、37
暗い場所で撮影するとコマ落とし効果が出る	●暗い場所で撮影をすると、自動的に感度が上がりシャッターの速度が遅くなるため、コマ落とし効果が出ます。自然な動きで撮影したいときは、メニューで‘感度アップ’を選びAGCにしてください。	41、44、45
画面がゆれる	●スピーカーの音量が大きいと、画面が揺れることがあります。音量を小さくしてください。	—
テレビにつないでも映像がでない	●ジャンクションボックスの出力/入力切替スイッチが、入力になっているとテレビに映像は出ません。出力にしてください。	56
液晶画面の表示が乱れる	●テープの無記録部分の再生、高速再生および静止画再生中は、液晶画面の表示が乱れることがあります。故障ではありません。	33
液晶画面またはファインダー内に見えないマークがでた	●液晶画面とファインダーの表示一覧をご覧ください。	14、15
液晶画面またはファインダー内にEOIなど、Eのついた数字が表示された	●拡大故障を防ぐため操作ができなくなります。テープを取り出しバッテリーをはずして数分待ち、表示が消えてからお使いください。表示が消えない場合は、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。	—
テレビチューナーを使っただが、うまく作動しないまたは映像や音声が乱れる	●電波の状況やアンテナの向きによって、オートプリセットやサーチが出来なかったり、映りや音声が悪くなったりすることがあります。また画面が不安定だったり、表示が見えなくなることがありますが故障ではありません。 ●電波の弱いところでは、アンテナを調節しても画や音声が乱れることがあります。 ●ACパワーアダプターを使っているとき、画や音にノイズが入ることがあります。こんなときはACパワーアダプターの電源コードと、ビデオカメラやアンテナ端子ケーブルを離してご使用ください。	64、67
テレビチューナーを使っての録画ができなかった	●電波の状況によって、録画中、画が出ていても、再生したとき映像や音声が乱れたり、記録されていないことがあります。	67
テレビチューナーのオートプリセットがうまくいかない	●同じ場所でオートプリセットを繰り返しても、状況によって電波の弱いチャンネルが記憶されたり、されなかったりすることがあります。	65

使用上のご注意

ビデオカメラについて

取り扱いのご注意

撮影中、再生中は電源を
はずさない

- テープを傷めたり、誤動作の原因になります。



衝撃を与えない



- 液晶画面は傷つきやすいものですので、表面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。また、画面側を下に向けておかないでください。
- 長時間電源を入れたままにすると液晶画面周辺やグリップ、バッテリーなどが温かくなります。故障ではありません。

使用場所のご注意

以下の場所での使用、放置は故障の原因となるのでお避けください。

湿気や油煙、ほこりの多い所

- 砂浜などでの使用は内部に砂や海水が入らないように、また雨天、降雪中の使用では、濡らさないようにご注意ください。



温度が高い所

- 窓を閉めきった自動車の中や、熱器具や暖房の近くなど。(周囲温度は0~40℃の範囲、湿度は35%~80%内の場所で使用されることをおすすめします。)



強い電波や磁気の発生する所、また
雷が近いときは使用しない



ぐらついた台の上や傾いた所など
不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。また、接続されたケーブル類に手や足をひっかけないように十分注意してください。

その他

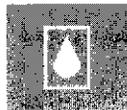
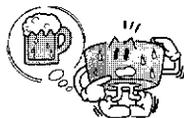
使用上のご注意(つづき)

つゆつきについて

よく冷えたビールをコップにつくと、コップのまわりに徐々に水滴が付きます。この状態を 'つゆつき' といいます。

〈湿気は大敵〉つゆつきが発生すると

ビデオカメラの心臓部であるヘッドドラムの周りに徐々に水滴が付き、テープが貼り付き傷ついてしまいます。



つゆつき表示が出たらビデオカメラは停止します。



つゆつきはこんなときにおこります

- ビデオカメラを寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
- 湿気の多いところでの使用時。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。

つゆつき後再び使い始めるには

電源を切って数時間待ちます。その後電源を入れて数分待ち、つゆつき表示が消えてからご使用ください。消えない場合は点検が必要です。お買い上げ販売店にご相談ください。

つゆつきのトラブルを防ぐには

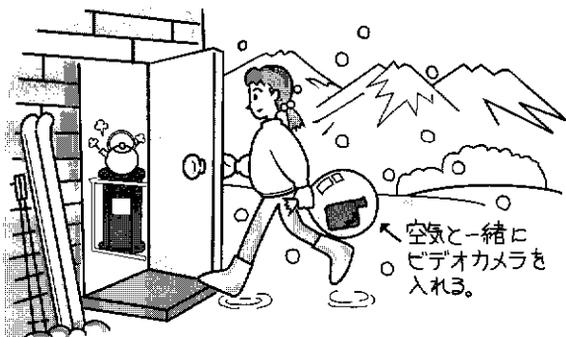
つゆつきのおこるような環境

- ・寒い所から暖かい所
- ・冷房のきいた所から温度・湿度の高い所

での使用は、移動時にビデオカメラとテープをしばらくおいて、その環境になじませてからお使いください。

- 例えば、スキー場で撮影後、暖房のきいた部屋に入るときはビニール袋等にビデオカメラを入れて(一緒に空気も入れる)移動し、しばらくその状態で環境になじませるとつゆつき防止に効果的です。

- ・つゆつきはレンズにもおこります。きれいに撮影できませんのでつゆつきがなくなってから撮影してください。
- ・通常、つゆつきは徐々に進行し、10～15分間は現象が現われないことがあります。
- ・寒冷地域では露が凍結し、霜になることがあり、さらに時間がかかります。



ヘッドの汚れについて

ヘッドが汚れるとテープ再生時に、右のような症状が出ます。

クリーニングカセット TCC-2(別売) を使ってヘッドを清掃してください。



ヘッドの汚れる原因は

高温・多湿

- しばらくその環境になじませた後ご使用ください。

テープの傷

- 傷のあるテープは磁性粉がはがれヘッド汚れの原因となります。



空気中のほこり・ちり 長時間の使用

- クリーニングカセットでクリーニングしてください。



ヘッドは摩耗します

クリーニングカセットで清掃しても鮮明な映像が映らない場合はチェックまたは交換が必要です。お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

お手入れについて

ボディの汚れは

お手入れのときは、電源をはずして行なってください。

- 乾いた柔らかい布などで拭きとってください。
- ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用の際は、その注意書に従ってください。



その他

レンズや液晶画面はいつもきれいに

- 汚れたままでは、カビなどが発生する場合があります。添付のクリーニングクロスあるいは市販のメガネ拭き用クリーニングクロスなどを使用して清掃してください。
- 液晶画面は、軽く半円を描くように拭き取ってください。強くこすると汚れがのびるだけでかえって落ちにくくなります。
- クリーニングクロスが汚れたら、水で手洗いしてください。

定期点検のおすすめ

ヘッドやテープを動かす機会部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしています。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1000時間をめどに点検されることをおすすめします。

使用上のご注意（つづき）

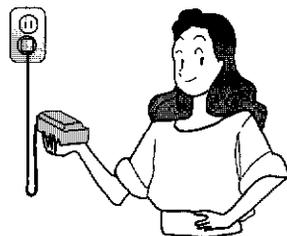
バッテリーについて

上手な充電と使い方で長持ちさせましょう。

上手な充電と使い方

使用前に充電を！

- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。
したがって充電せずに出荷しています。使用する直前か前日に充電してください。
- 充電するときは、周囲の温度が10～35℃の場所でおこなってください。



バッテリーは完全に使いきってから充電を！

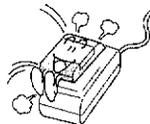
完全に使いきる → 充電 → 完全に使いきる → 充電



- 使いきらないで充電するとバッテリーの容量低下の原因になります。
(別売のAC/パワーアダプターにはリフレッシュ機能がついています。5回の充電につき1回を目安にリフレッシュしてください。9)

長時間使用しないときは機器からはずす

- 電源を切っても微小電流が流れています。



使用時間が短くなったら

バッテリーには寿命があります！

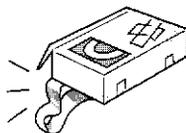
- 長時間（約1年）保存されたバッテリーは、はじめの使用時間が若干短めになります。
充電と放電（使いきる）を数回繰り返すとバッテリーの容量が回復します。
完全に使いきる → 充電 を繰り返しても使用時間が短いときは、寿命がきていますので新しいバッテリーをお求めください。

次の場合にも撮影時間が短くなります。

- 寒冷地など温度の低いところでの撮影
- ズームングを使った撮影

テープについて

- 撮影済みテープに新しく撮影すると、前の映像と音は自動的に消えます。
- テープは裏返しては使いません。
- テープを走行させないでテープの出し入れを繰り返さないでください。

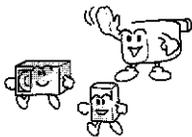


正しい保存のしかた

ビデオカメラは

ふだん使用しないときは、テープを出し、電源を切りバッテリーをはずしておく

- 機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れ、チェックしてください。



テープは

ケースに入れ、湿気が少なく風通しの良い、カビの発生しにくいところに立てておく



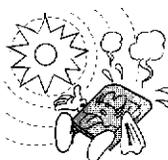
バッテリーは

長時間使用しないときは放電して保存する



温度が上がらない乾燥したところに保存する

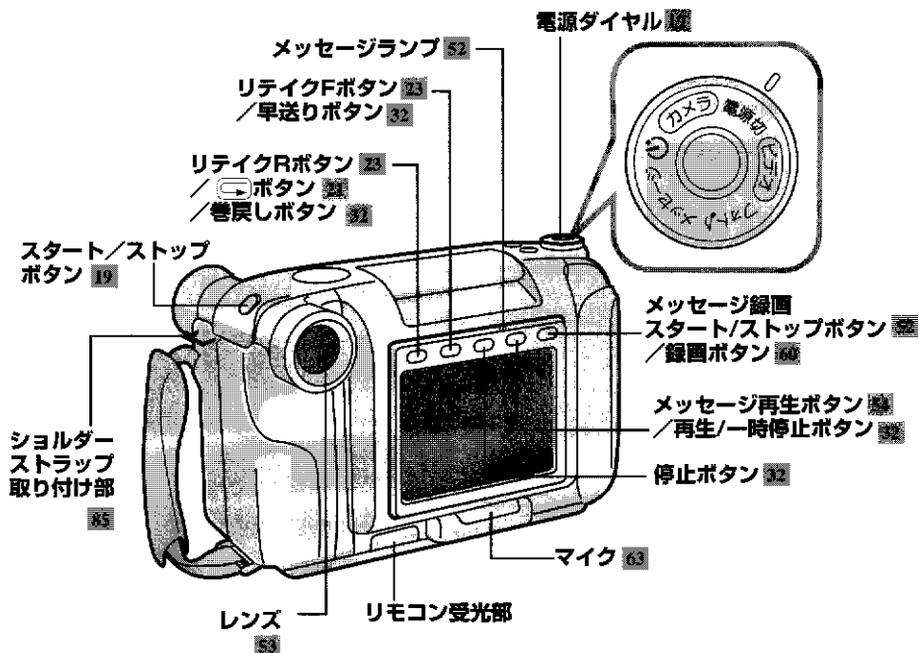
- 高温の場所に置くと寿命が短くなり、自己放電も多くなります。



その他

各部のなまえ

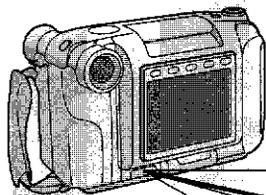
ビデオカメラ



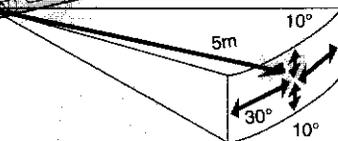
(前面図)

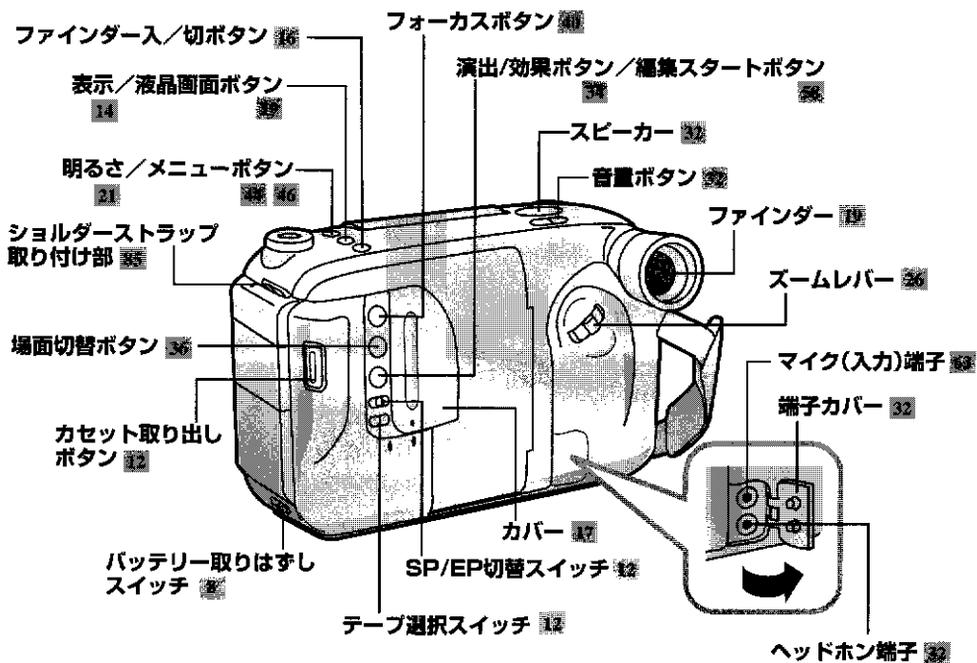


付属リモコンの使用可能範囲

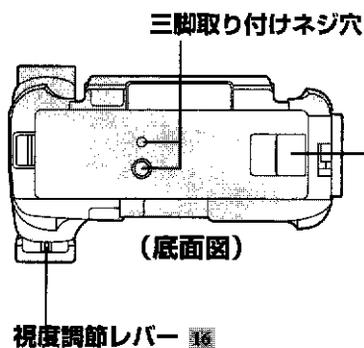


直射日光や照明器具の強い光が当たると誤動作したり、動作しないことがあります。





(背面図)



(底面図)

マルチ端子
 ●ビデオカメラとジャンク ションボックスはこの 端子で接続されます。



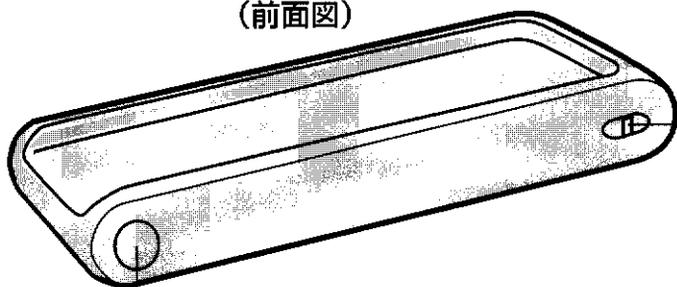
マルチ端子は手でふれたり、かたい 物を当てたり、絶対にしないでくだ さい。ピンがこわれて接触が悪くなり、使えなくなります。

その他

各部のなまえ(つづき)

ジャンクションボックス

(前面図)



ビデオカメラ取りはずし 56
ボタン

映像(入出力)端子 56 60

編集端子 58

S(入出力)端子
56 60

リモコン端子

●別売のワイヤードリモコン
RM-V20を使うとき使用し
ます。

(背面図)

マルチ端子

●ビデオカメラとジャンク
ションボックスはこの
端子で接続されます。

DC出力端子

●この端子はアフターサービス用
端子です。

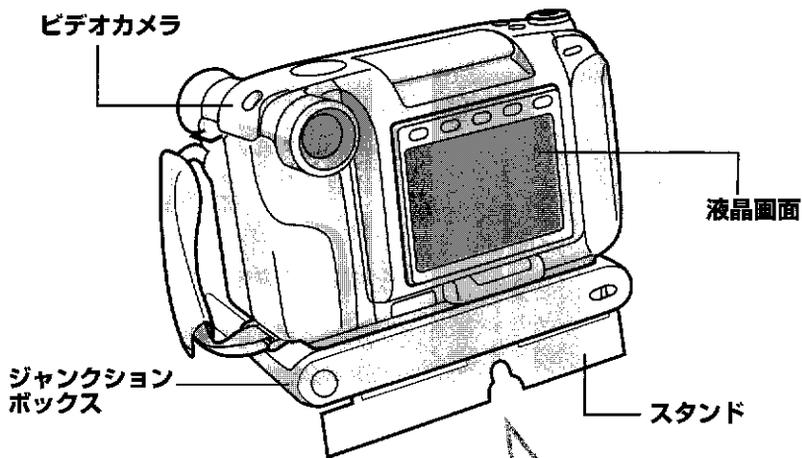
音声(入出力)端子 56 60

プリンター(入力)端子

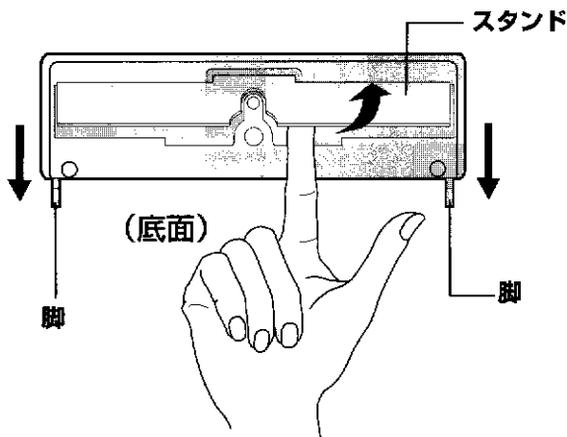
●市販のビデオプリンターの映像出力(記憶画面)とつなぎ
ます。ビデオカメラからの映像をプリントアウトするとき、
テレビに接続しなくても液晶画面にビデオプリンターから
の映像が映ります。

●撮影中の映像をプリントアウトしようとするとき、記録して
いる日付などの表示が乱れることがあります。このような
ときは、日時や表示を消すか、プリンターの映像出力をテ
レビに接続してください。

マルチ端子は手でふれたり、かたい
物を当てたり、絶対にしないでくだ
さい。ピンがこわれて接触が悪くな
り、使えなくなります。



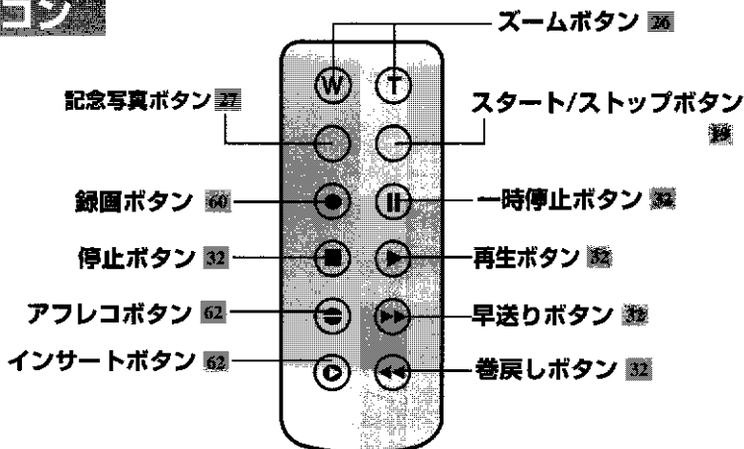
- 指などで矢印の方向にスタンドを起こすと、左右に脚がでます。



- スタンドを起こして液晶画面を見やすくすることができます。対面撮影時や液晶画面を見るときなどに、お使いください。
- 液晶画面の角度によりビデオカメラが不安定になるときは、このジャンクションボックスを取り付けの上、スタンドを起してお使いください。

各部のなまえ (つづき)

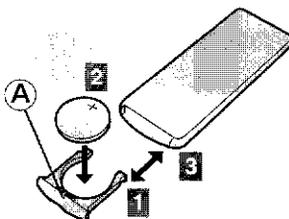
リモコン



リモコンのボタン (名称)	各ボタンの働き	
	ビデオカメラの電源ダイヤルが「カメラ」または「  」のとき	ビデオカメラの電源ダイヤルが「ビデオ」のとき
記念写真ボタン	記念写真撮影	記念写真サーチ
録画ボタン	—	録画 (再生ボタンと同時押し)
停止ボタン	撮影スタンバイ	停止
アフレコボタン	—	アフレコ (一時停止ボタンと同時押し)
インサートボタン	—	インサート (一時停止ボタンと同時押し)
ズームボタン	遅いスピードのズーム (一定速)	—
スタート/ストップボタン	本体のスタート/ストップボタンと同様	インサート時のみスタート/ストップ
一時停止ボタン	—	一時停止
再生ボタン	—	再生/アフレコスタート
早送りボタン	リテイクF (正転再生)	早送り
巻戻しボタン	リテイクR (逆転再生) / クイックレビュー	巻き戻し



付属リモコンのボタン電池の取り付け方

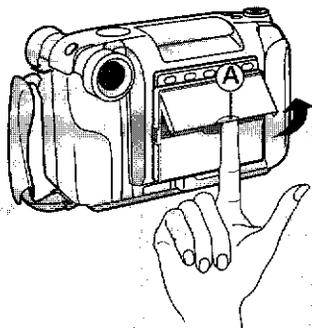


- 1 リモコンを裏返しにし、**A**の部分にボールペンなどを差し込み、電池取り付け部を矢印方向へ引き出します。
- 2 ボタン電池の+側を上にし、電池取り付け部にのせます。
- 3 電池取り付け部を矢印方向にカチッと音がするまで差し込みます。

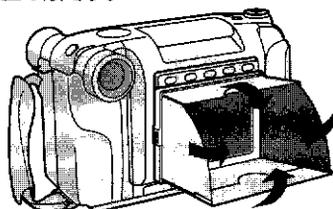
付属サンフードの使い方

光を防ぎ、画面を見やすくします。また、画面の傷つき防止にも役立ちます。

1 ①を指で引いて開きます。

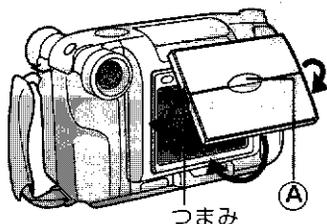


2 画面を見ないときはたたんでおいてください。たたみかたは両側→下→上の順です。

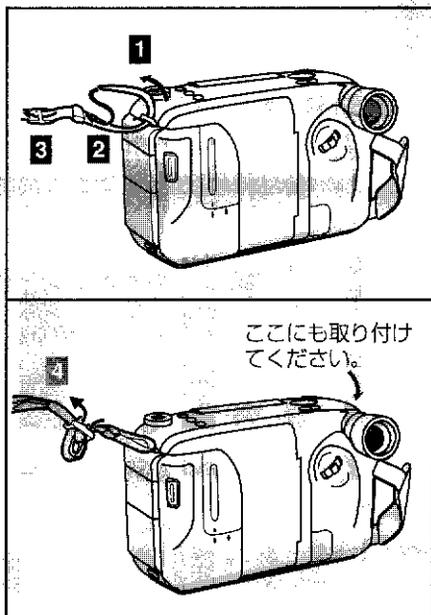


取り外し/取り付け方

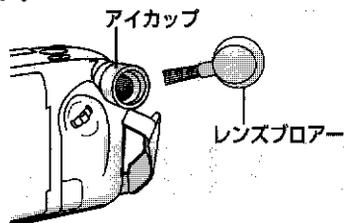
サンフードの両脇にあるつまみをもって手前に引いて取り外し、液晶画面に合わせて取り付けます。上下逆だと取り付けでもすぐにはずれてしまいます。①が上に開くように取り付けてください。



ショルダーストラップVU-V220(別売)の取り付け方
ショルダーストラップを引っ張り、確実に付けられたか確認してください。



ビデオカメラのアイカップを掃除するときは市販のレンズブローアなどで掃除してください。



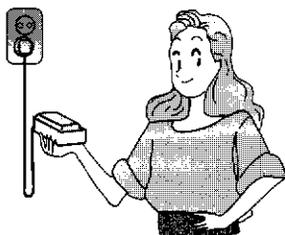
その他

海外でお使いになるには

このビデオカメラは海外でもお使いになれます

ACパワーアダプターは、海外でもバッテリーの充電ができます。
ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので訪問国のコンセントに合った変換プラグ（空港売店で販売）が必要です。くわしくはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACアダプターの変換プラグを直接差し込みます。 主に北米、南米など				
		主にオーストラリア	主にヨーロッパ		



現地のテレビで見るとは

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

再生できるテープは

日本と同じNTSC方式で撮影したものです。



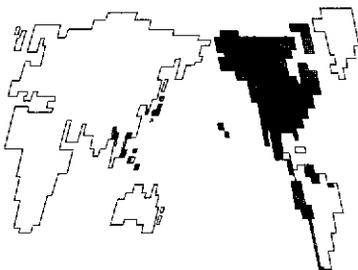
海外で万一故障した場合は

お持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

（海外でのアフターサービスについては、ご容赦ください。）

日本と同じNTSC方式の国です

- アメリカ合衆国
- ニカラグア
- ハイチ
- エクアドル
- パプニューギニア
- パナマ
- エルサルバドル
- プエルトリコ
- バハマ
- カナダ
- ベネズエラ
- バルバドス
- キューバ
- ペルー
- ミャンマー
- グアム
- 米領サモア
- ベトナム
- 韓国
- ポリネシア
- フィリピン
- チリ
- グアテマラ
- ホンジュラス
- ドミニカ
- コスタリカ
- ミクロネシア
- トリニダード・トバゴ
- コロンビア
- メキシコ
- スリナム
- 台湾



主な仕様

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ビデオカメラ

電源	DC6V
消費電力	11W (液晶画面/ファインダー入)
信号方式	NTSC日米標準信号
録画方式	SVHS / VHS 規格
使用テープ	SVHS / VHS テープ
テープ速度 (SP)	33.35 mm / 秒
(EP)	11.12 mm / 秒
録画時間	最大120分 (ST-C40使用時)
早送り・巻戻し時間	約7分 (ST-C40使用時)
撮像素子	CCD固体撮像素子
レンズ	F1.6 10倍ズーム f = 4.5 ~ 45 mm オートフォーカス/オートマクロ付
液晶モニター	4インチ 透過型液晶パネル
ファインダー	0.5型白黒電子ファインダー
最低照度	7ルクス (1x)
白バランス調整	自動/手動
アイリス	自動
映像入力	1.0 ~ 2.0Vp-p (75Ω不平衡)
音声入力	-8dBs (High)
映像出力	1Vp-p (75Ω不平衡)
音声出力	-8dBs (Low)
スピーカー	モノラルタイプ
内蔵マイク	ステレオタイプ
マイク端子	φ3.5mm -68dBs (High)
ヘッドホン端子	φ3.5mm ステレオ
許容動作温度/湿度	0 ~ 40°C / 35 ~ 80%
許容保存温度/湿度	-20 ~ 50°C / 5 ~ 80%
外形寸法	幅192 × 高さ128 × 奥行108mm
質量	本体質量 約1100g 撮影時質量 約1370g (バッテリー BN-V12、テープ ST-C40、サンフード含む)



使用するバッテリーは6Vです。
BN-V12、V15、V22、V25、V65 はニカド電池、BN-V50はニッケル水素電池です。

ジャンクションボックス

リモコン端子	φ3.5mm ミニジャック
映像入出力端子	RCAピンジャック
音声入出力端子	RCAピンジャック
S 入力端子	4ピンジャック
編集端子	φ3.5mm ミニジャック
DC 出力端子	アフターサービス用
プリンター端子	RCAピンジャック (入力)
許容動作温度/湿度	0 ~ 40°C / 35 ~ 80%
許容保存温度/湿度	-20 ~ 50°C / 5 ~ 80%
外形寸法	幅176 × 高さ31 × 奥行60mm
質量	約145g

バッテリーについて

充電/リフレッシュ時間

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V15	約1時間25分	約5時間
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V25	約2時間40分	約10時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V65	約2時間10分	約7時間

ACパワーアダプターAA-V11使用の場合

- リフレッシュ時間は、容量いっぱいまで充電した状態からの目安です。

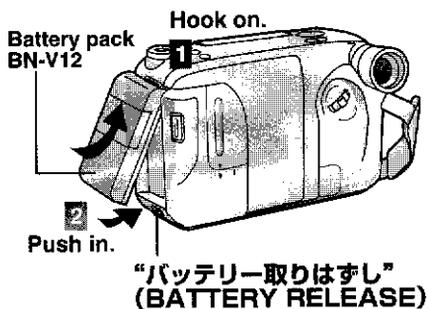
連続撮影時間

バッテリー	撮影時間		
	液晶画面入	ファインダー入	液晶画面/ ファインダー入
BN-V12	約25分	約40分	約25分
BN-V15	約40分	約55分	約35分
BN-V22	約65分	約85分	約60分
BN-V25	約85分	約110分	約80分
BN-V50	約75分	約100分	約70分
BN-V65	約65分	約85分	約60分

その他

ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE

APPLY POWER



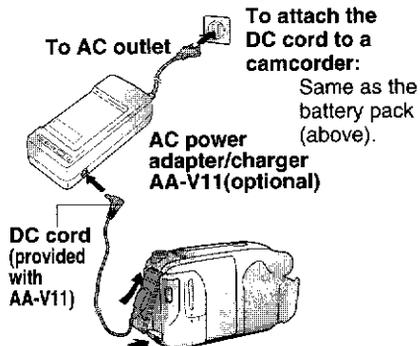
A. Using the battery pack

- 1 Hook-on the battery pack's top end to the camcorder.
- 2 Push in the battery pack until it locks into place.
—— Make sure that the battery pack locks in completely.

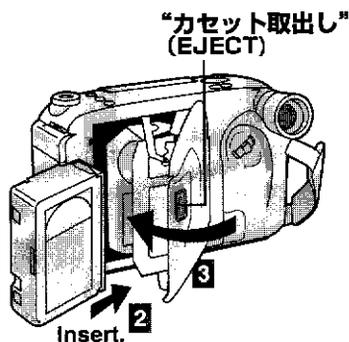
To remove the battery pack

Slide “バッテリー取りはずし” (BATTERY RELEASE) and pull out the battery pack.

B. Using the AC Power adapter/charger



INSERTING AND EJECTING A VIDEO CASSETTE

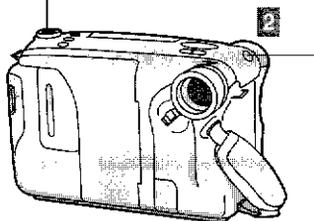


- 1 Press “カセット取出し”(EJECT) and open the cassette door.
—— The cassette holder open automatically a few seconds later.
—— If the cassette holder does not open, Press “カセット取出し”(EJECT) again.
- 2 Insert a video cassette.
- 3 Close the cassette cover.

Notes:

- “カセット取出し”(EJECT) is not possible unless a power supply is attached.
- When remaining battery power is extremely low, “カセット取出し”(EJECT) may not be possible.

1 Set to “カメラ”



Recording Start/Stop button

- 1** Set the power switch to “カメラ” (CAMERA).
— The power indicator will light and image will be seen in the viewfinder or LCD monitor.
- 2** Press the Recording Start/Stop button.
— Recording Starts.
- To stop recording temporarily, momentarily Press the Recording Start/Stop button once again.

PLAY BACK

1 set to “ビデオ”



“■”
(STOP)

3 “▶||”
(PLAY/PAUSE)

- 1** Set the power switch to “ビデオ” (PLAYBACK).
- 2** Press to “◀◀” (REWIND).
— The tape will automatically stop at the beginning of the tape.
- 3** Press to “▶||” (PLAY/PAUSE).
— Playback starts, and playback picture appears on the LCD monitor.
- To stop playback, Press “■” (STOP).

Or simply play back the tape on a VHS VCR using the Cassette Adapter C-P6 (optional).

その他

索引

五十音順

ア

アフレコ編集 62
インサート編集 62
インデックスの記録 21
映画効果 33
液晶画面 28 ~ 29
演出／効果 34
オートデート 24 45
オートフォーカス 40
オートプリセット 65
オンスクリーン 25

カ

海外で使う 96
カウンター 33 36 47
カウンターメモリ 33 46 47 59
カセットアダプター 33
カーバッテリーチャージャー 11
簡単オート 37
記念写真 37
記念写真サーチ 27 39
逆光補正 38
クイックレビュー 21
グリップバンド 16
高感度 35
誤消去防止 14
5Sモード(5秒撮り) 39

サ

撮影一時停止 19 20
撮影の確認 21
サーチ 37
サンフード 44 85
視度調節 16
充電 35
ショルダーストラップ 38
シネマ 36
スタンダード 17
スピーカー 39
スポーツ 39
ズーム 26 44 54
接続 36 39
セルフタイマー 29

タ

タビング 34
タリーランプ 28

つゆつき 36
デジタルズーム 26 45
テープについて 12
手振れ補正 38
テレビで見る 36
テレビ放送を見る 36
電源(コンセントで) 11
(車で) 11
(バッテリー) 38
トラッキング 33 46 47
撮る姿勢 14

ナ

日時合わせ 48
ノイズが出たら 33 46 47

ハ

バッテリー 8 78 79
バッテリーアラーム 15
場面切替 36
ピントを合わせる 40
ファインダー内表示 14
ファインダーのピント合わせ 16
フェードイン／フェードアウト 36
フォトミュージックビデオ 48 ~ 54
フォーカス 40
ヘッド汚れ 27
ヘッドホン 32 55
編集 38
ボタン電池 2 68
ホワイトバランス 38

マ

メッセージモード 37
メニュー設定 44 ~ 47

ラ

リテイク 34
リフレッシュ 38
リモコン 45 62 34
録画方式 13

ワ

ワイプイン／ワイプアウト 37

アルファベット順

ACパワーアダプター 34 ~ 35
NTSC方式 36
SP / EPモード 15
VISS(インデックスの記録) 21

保証とアフターサービス

保証書 別途添付しています。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ビデオカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

修理を依頼されるときは（持込修理）

72 ~ 74 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	S-VHS液晶付ビデオカメラ
型名	GR-MV1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	

その他

愛情点検

●長年ご使用のビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 再生しても映像や音が出ない。
- 異常な臭いや音がある。
- 水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
を
中 止

故障や事故防止のため、
電源を切り、必ず販売店
に点検をご相談ください。



省エネで
守る環境
豊かな暮らし



JVC Loves the Earth

アフターサービスのお問い合わせ先

アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の上、お近くのサービス窓口にご相談ください。91ページの「保証とアフターサービス」もお読みください。

お客様ご相談センター

東京

☎ (03) 5684-9311

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪

☎ (06) 765-4161

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)450-2550